

—大阪都市再生環状道路—

（仮称）淀川左岸線延伸部

事業概要及び 環境影響評価準備書の説明資料

平成 2 7 年 1 1 月

（都市計画決定権者）

大阪府 都市整備部 都市計画室 計画推進課

大阪市 都市計画局 計画部 都市計画課

（事業予定者）

国土交通省 近畿地方整備局 浪速国道事務所

I 事業計画の説明

◆大阪都市再生環状道路の概要

◆これまでの手続きの経緯

◆事業計画の内容



大阪都市再生環状道路の概要





大阪都市再生環状道路の概要



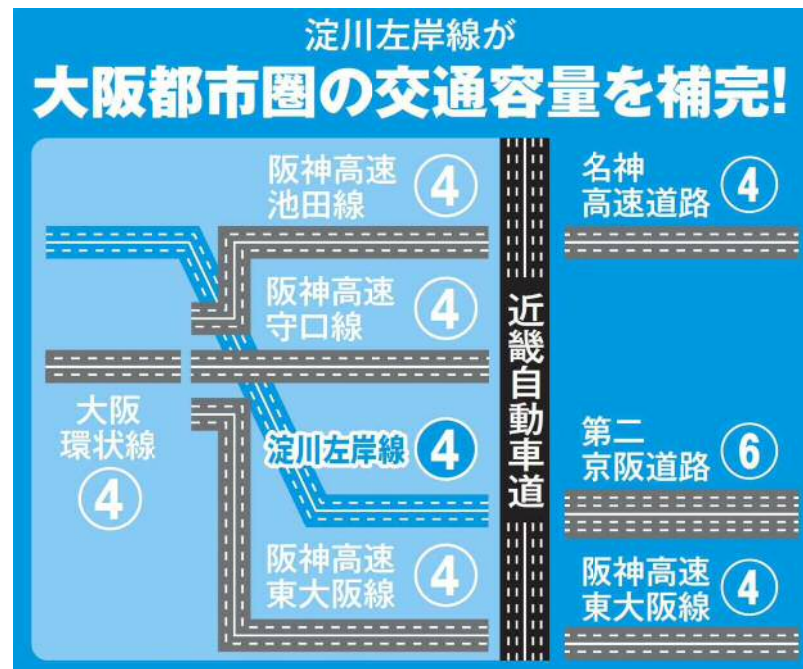


大阪都市再生環状道路の概要





大阪都市再生環状道路の概要



【臨海部から高速道路の利用が期待される
内陸部の輸出入コンテナ貨物量の推移】



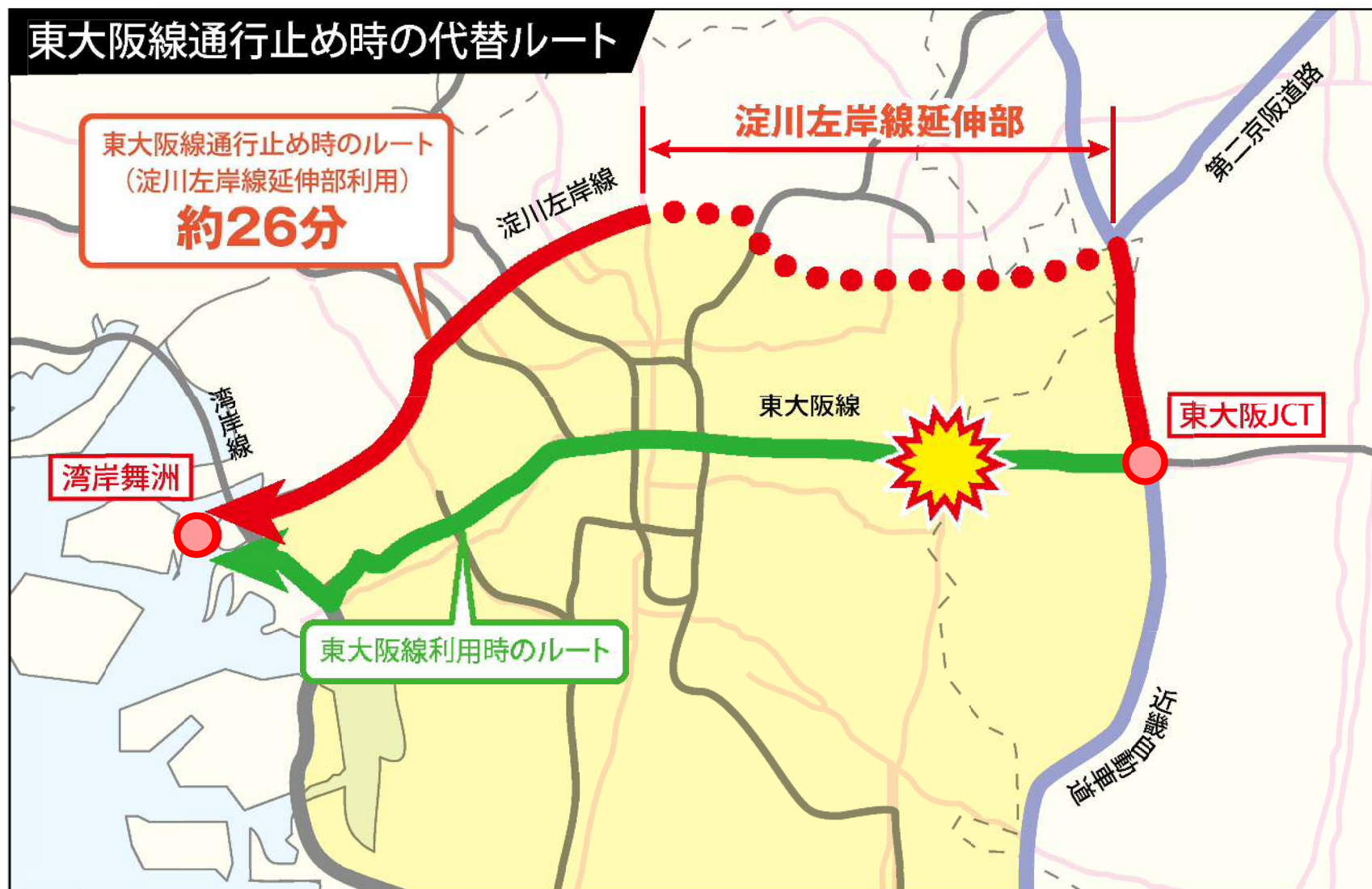
出典: 全国輸出入コンテナ貨物流動調査

滋賀県以東でコンテナ詰め・出された阪神港(大阪区)の貨物を抽出

コンテナ輸送台数は、第31回土木計画学研究・講演集「国際海上コンテナの陸上輸送ネットワークと経路選択行動」のコンテナ1個あたりの平均重量(実入平均)を用いて換算



大阪都市再生環状道路の概要



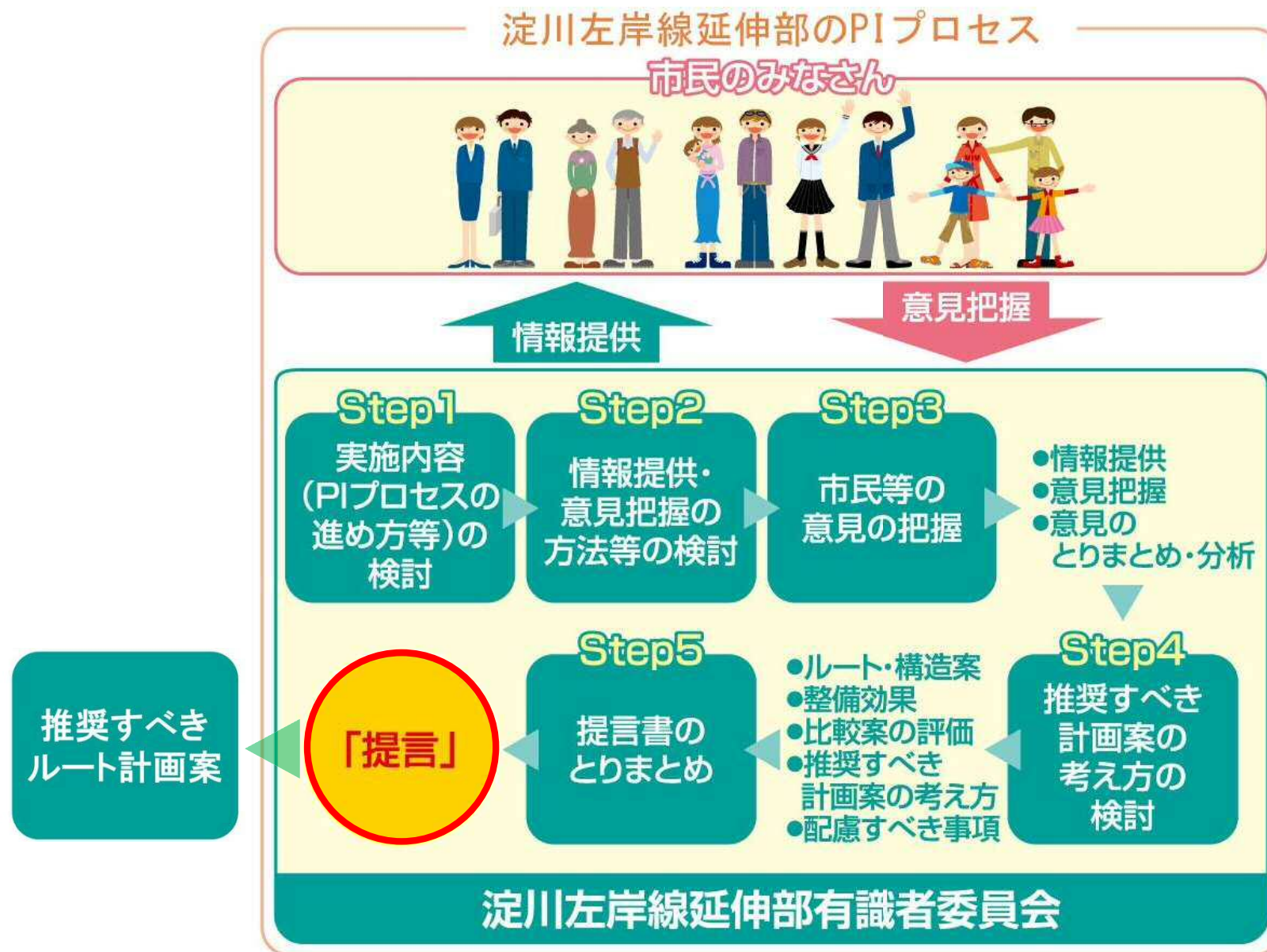
◆大阪都市再生環状道路の概要

◆これまでの手続きの経緯

◆事業計画の内容

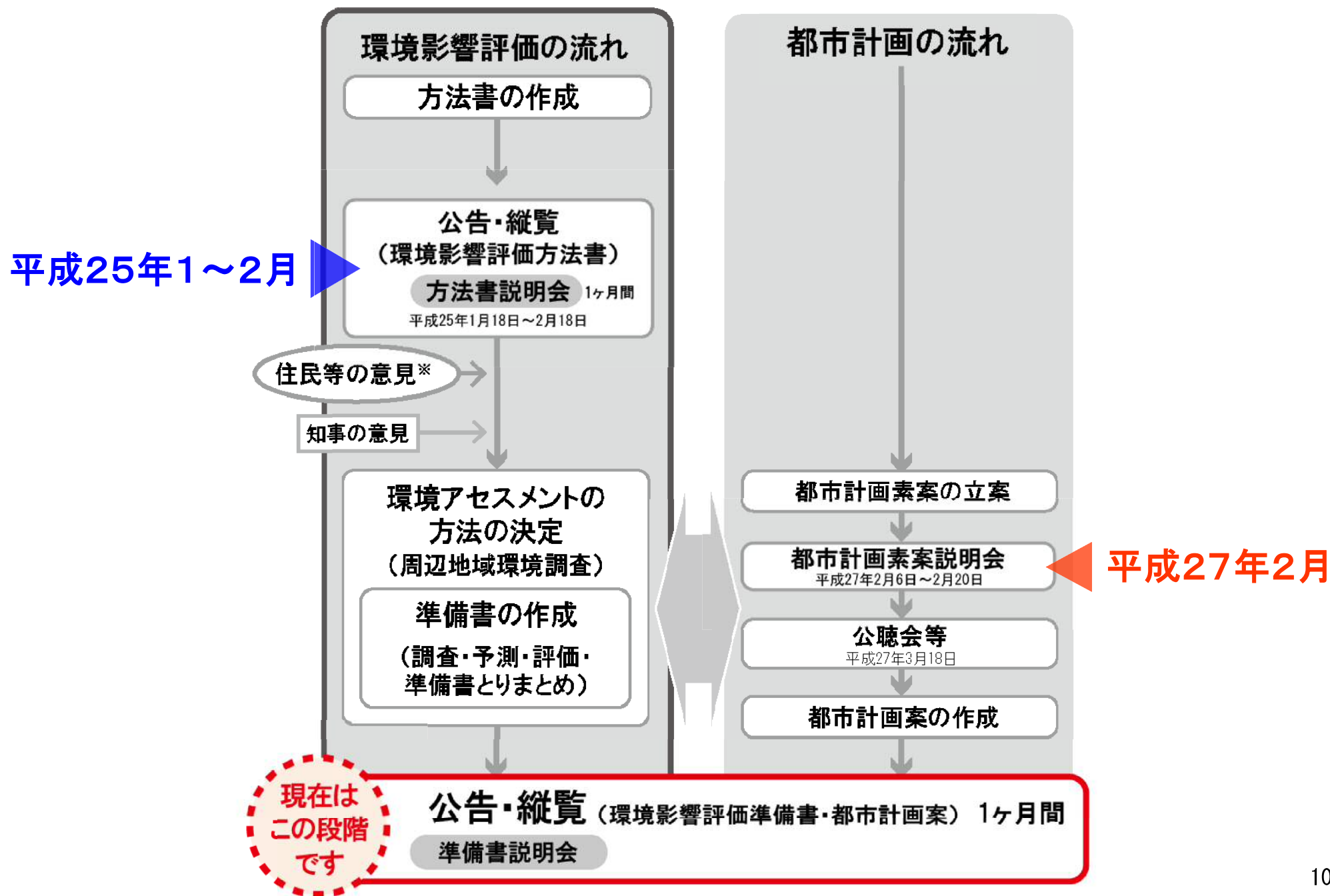


淀川左岸線延伸部のPIプロセス





都市計画・環境影響評価の手続き



◆大阪都市再生環状道路の概要

◆これまでの手続きの経緯

◆事業計画の内容

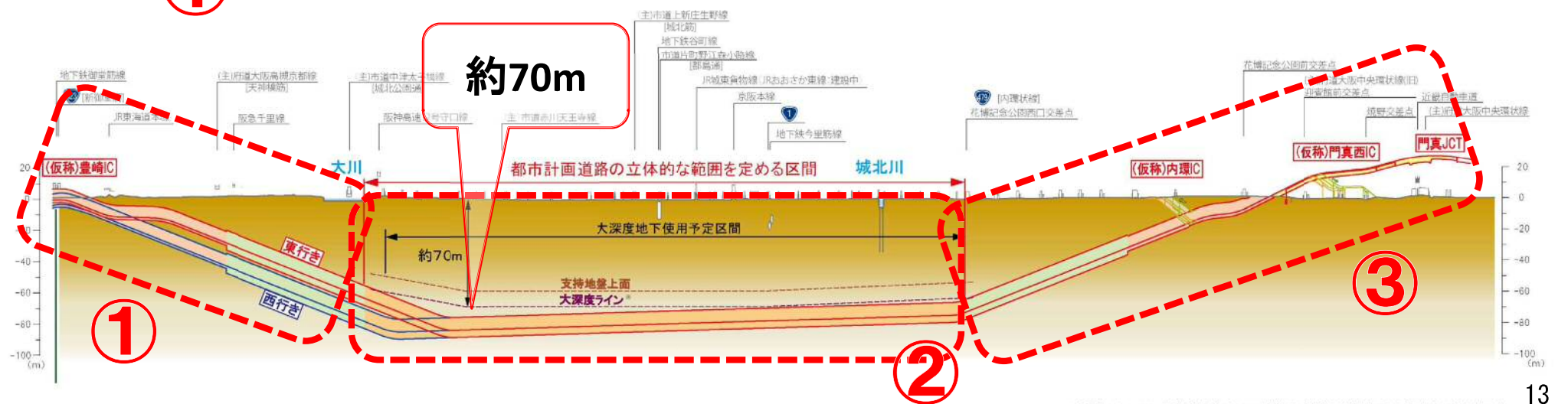
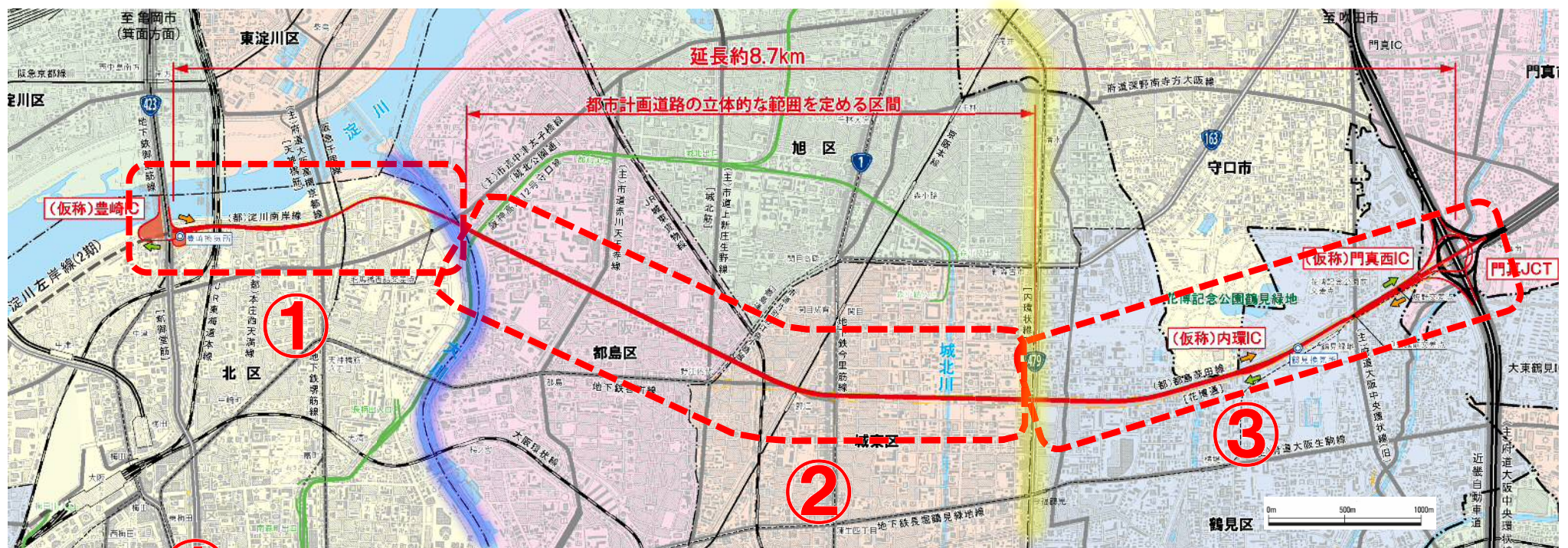


事業計画の諸元

計 画 諸 元	
延 長	約8.7km
起 点	大阪府大阪市北区豊崎6丁目
終 点	大阪府門真市穂島
道 路 規 格	第2種第2級
設 計 速 度	60km/h
車 線 数	4車線
計画交通量	30,000 ~ 46,200 台 / 日



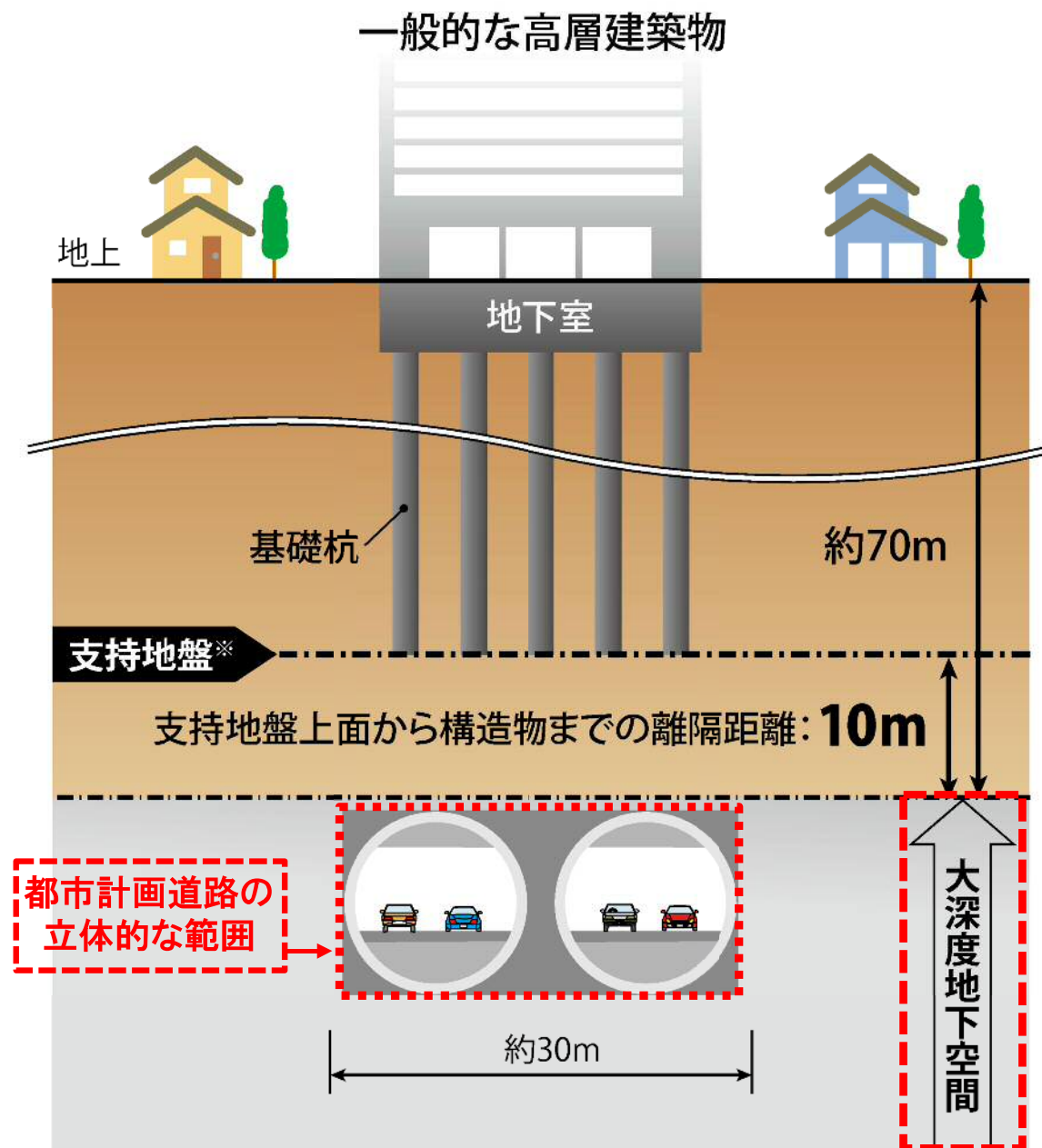
ルート・構造の内容



※大深度ラインについては今後「大深度地下の公共的使用に関する特別措置法」の使用認可を受けて決定されます

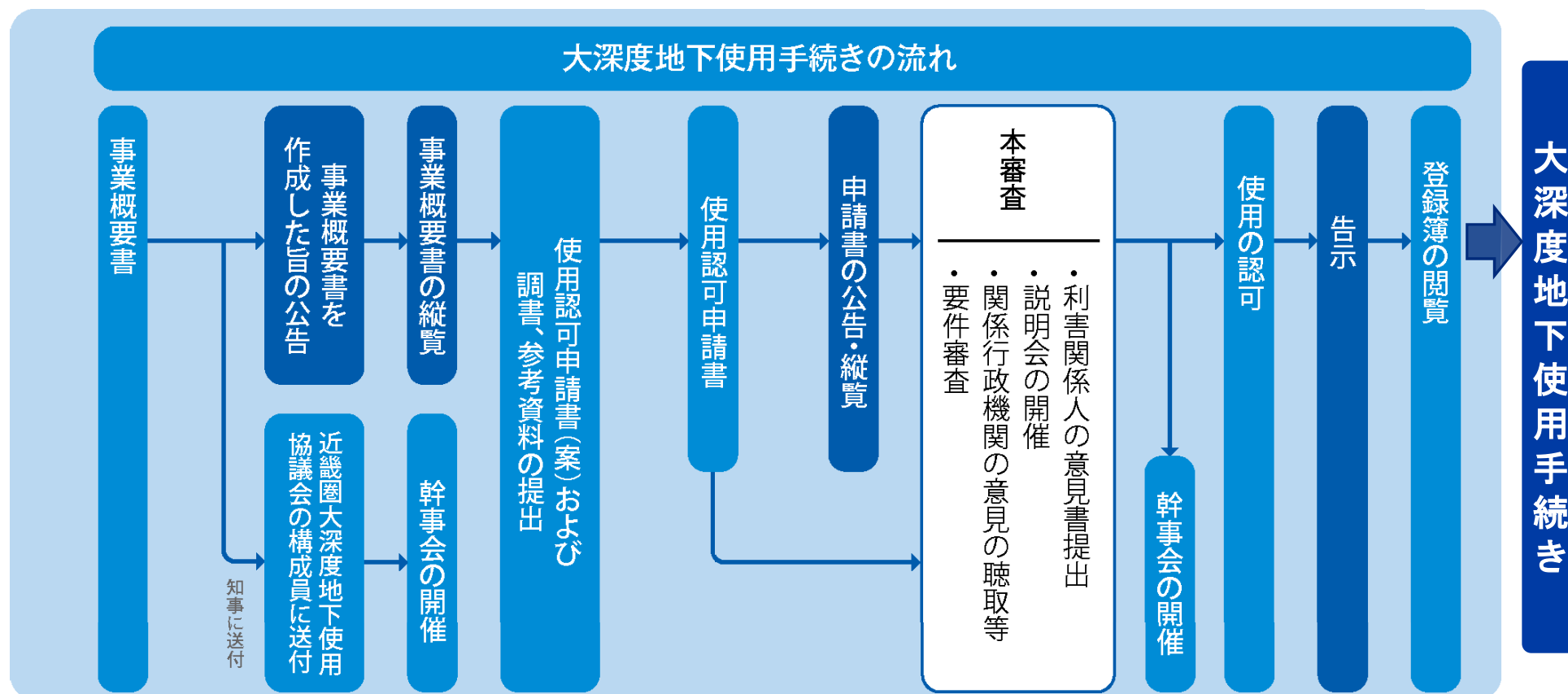


立体的区域を設定する都市計画



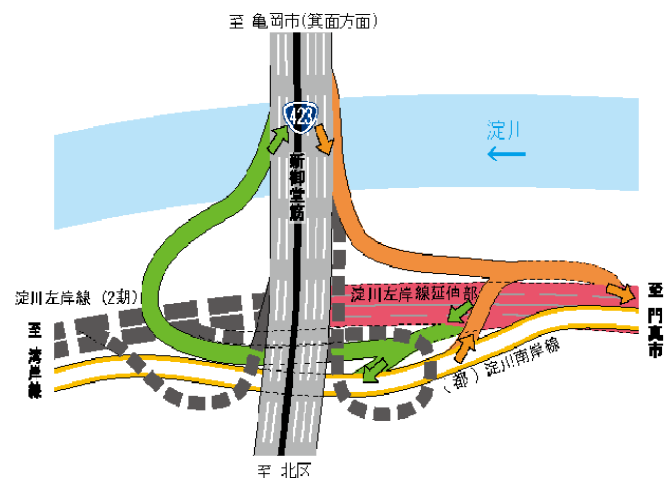


大深度地下使用手続きの流れ

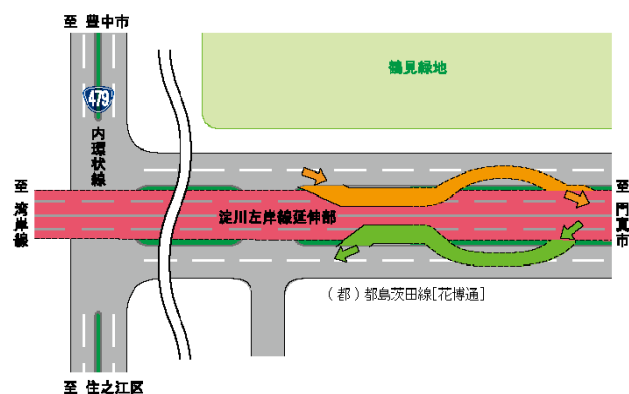




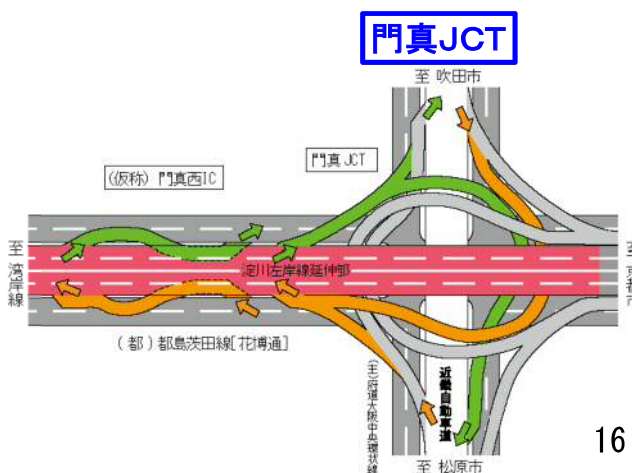
(仮称)豊崎IC



(仮称)内環IC



(仮称) 門真西 I C



Ⅱ 環境影響評価準備書の説明

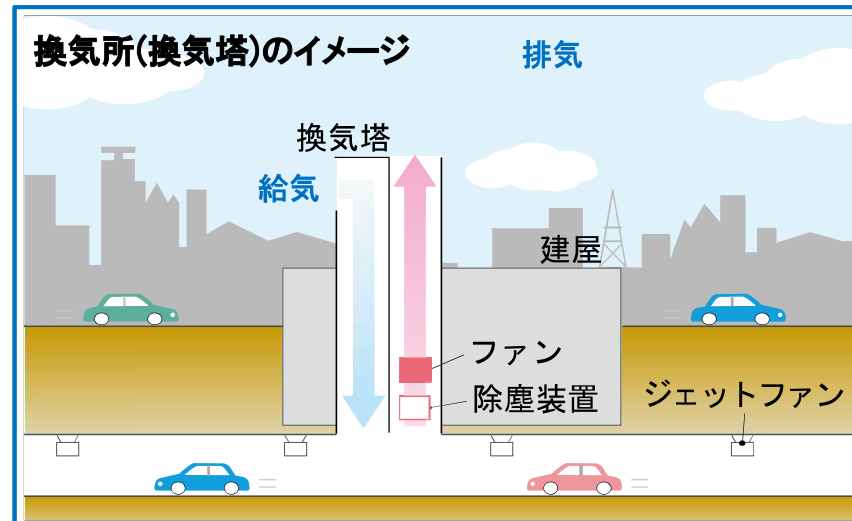
1. 環境影響評価の前提条件

2. 環境影響評価の項目

3. 環境影響評価の結果

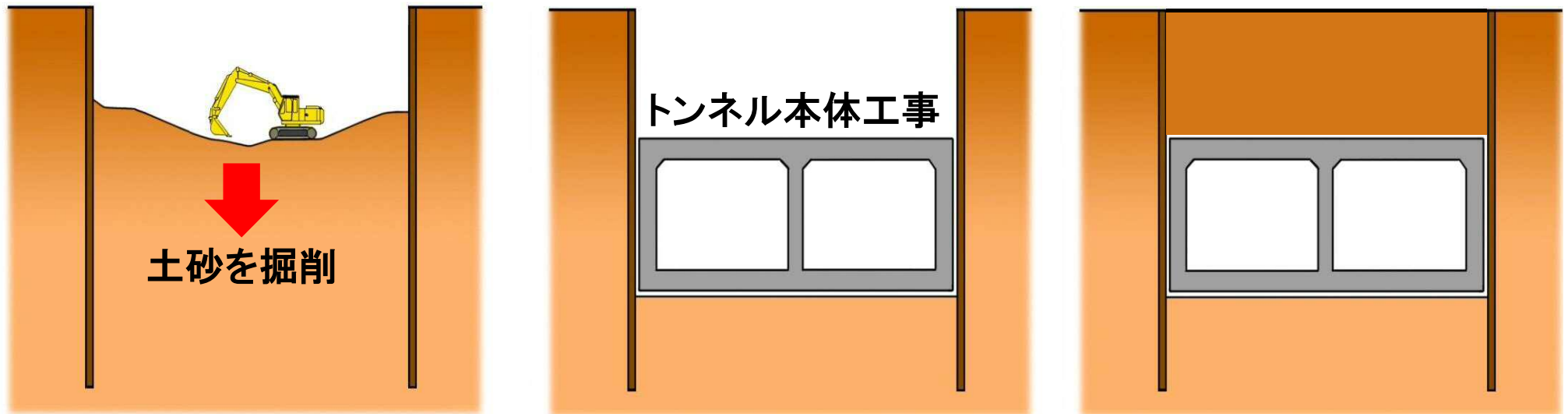
4. 総合評価

道路構造

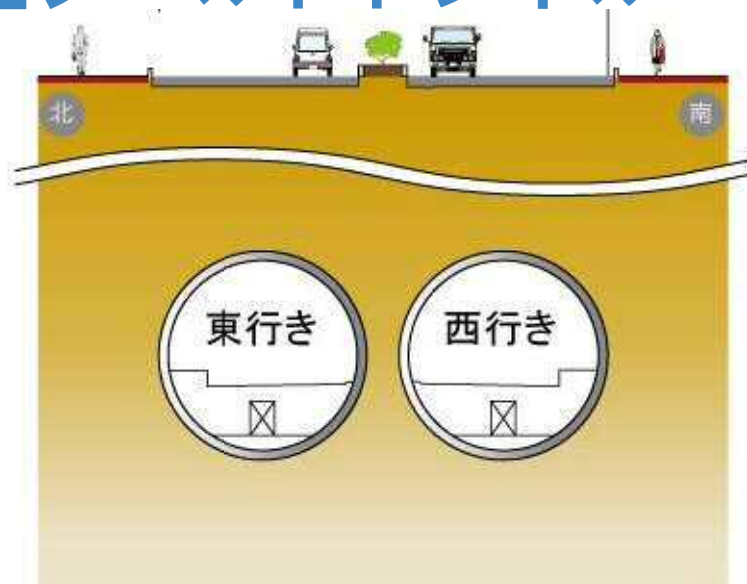


地下式区間の構造

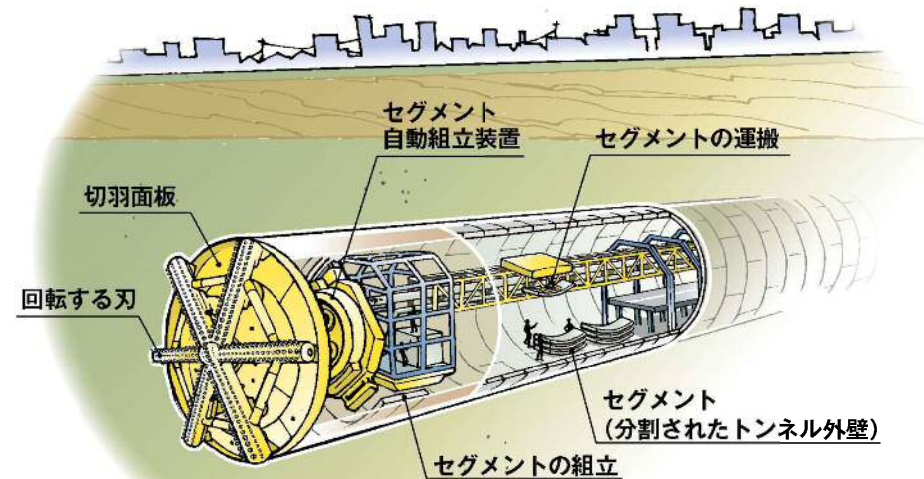
■開削トンネル



■シールドトンネル



【シールド工法(イメージ)】

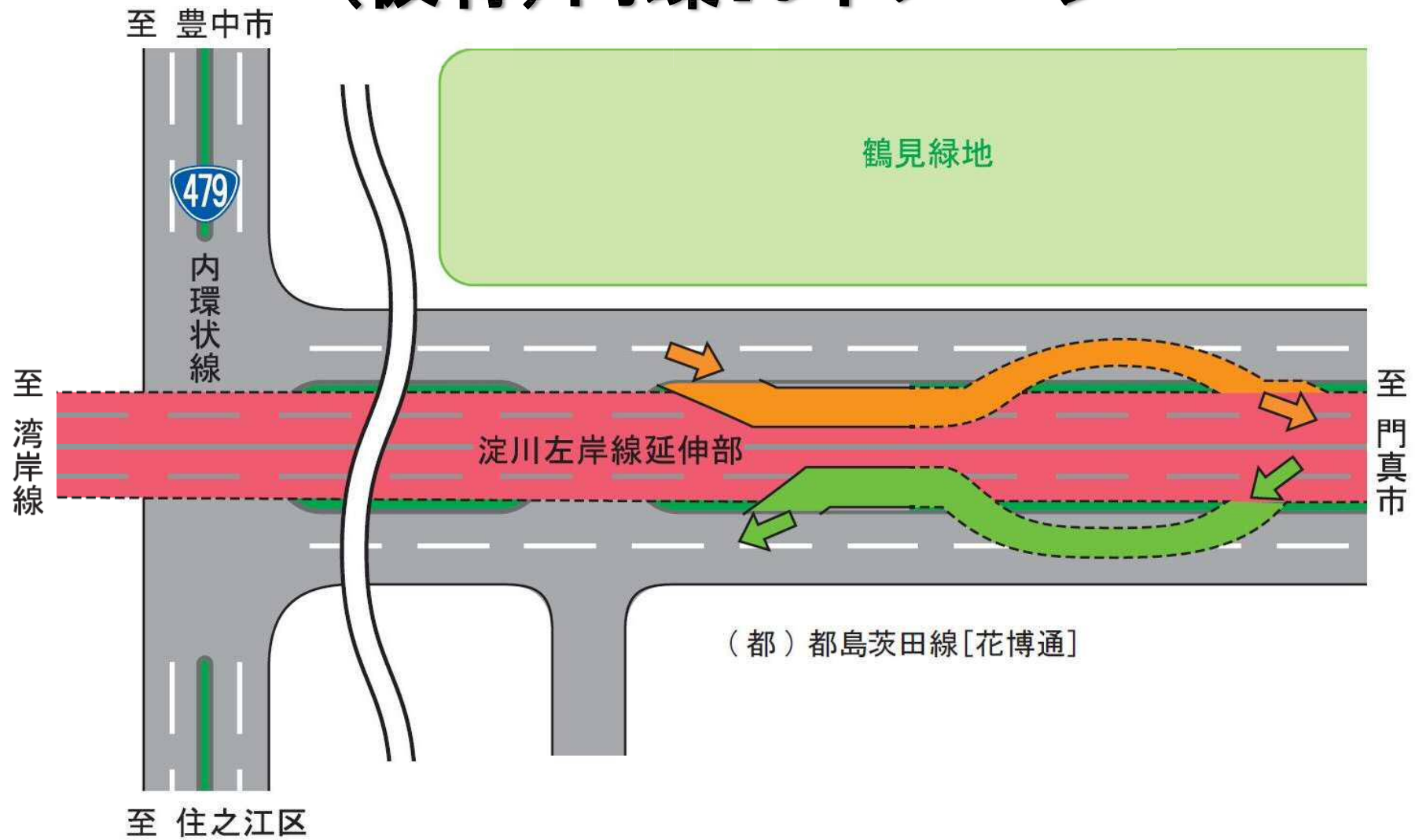


(仮称)豊崎ICイメージ

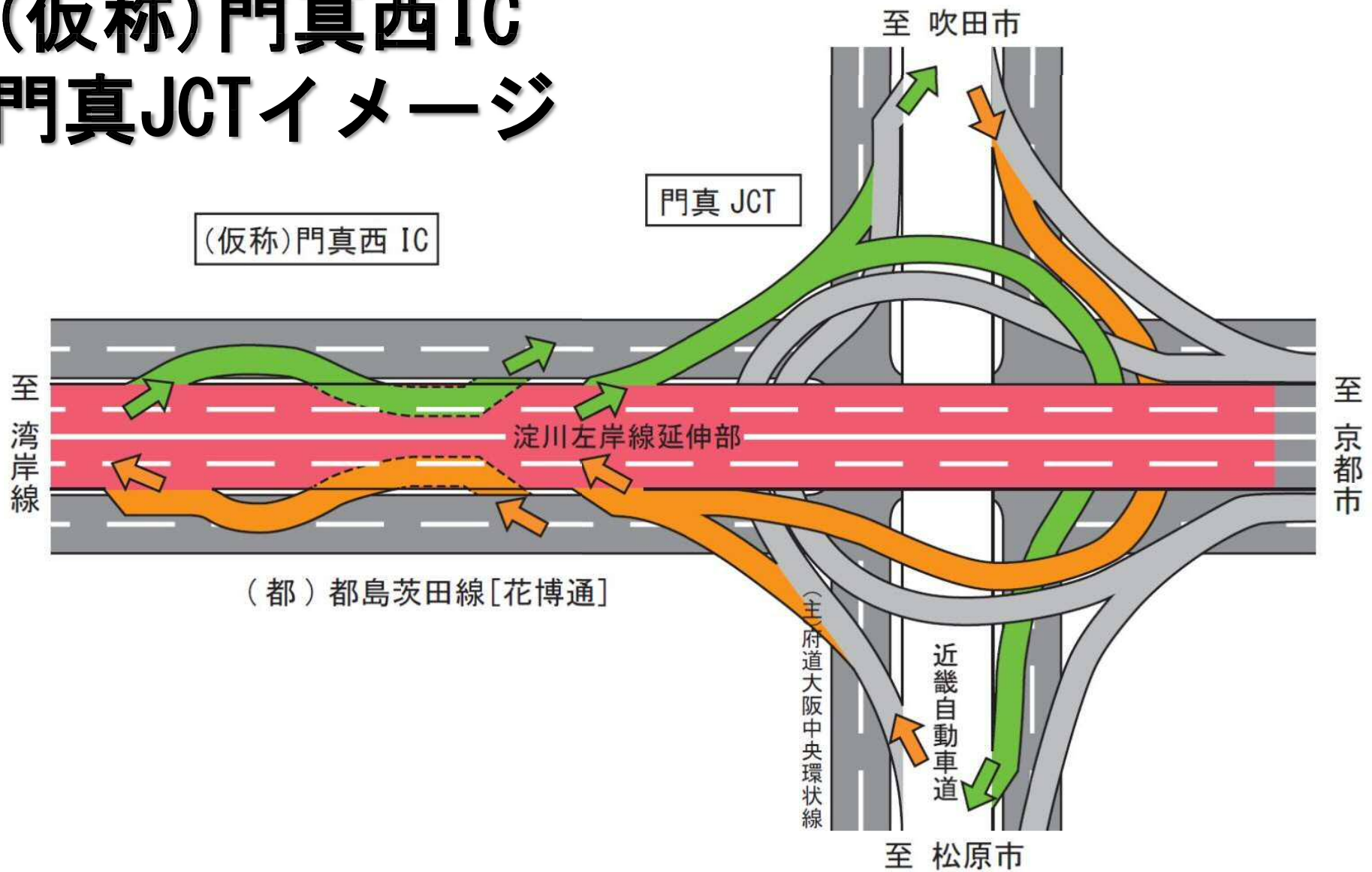


地上部の構造②

(仮称)内環ICイメージ



(仮称)門真西IC 門真JCTイメージ



1. 環境影響評価の前提条件

2. 環境影響評価の項目

3. 環境影響評価の結果

4. 総合評価

環境影響評価の項目

環境要素 影響要因		大気質		風害	騒音	振動	低周波音	水質（水の濁り）	底質	地下水 （地下水の水位及び水質）	地盤
		浮遊粒子状物質	二酸化窒素 粉じん等								
工事の実施		●	●		●	●		●	●	●	●
完成後	道路の存在									●	●
	自動車の走行	●			●	●	●				
	換気塔の供用及び存在			●	●	●	●				

環境要素 影響要因		土壌	日照障害	電波障害	動物	植物	生態系	景観	人と自然との 触れ合いの 活動の場	文化財	廃棄物等
工事の実施		●			●	●	●	●	●	●	●
完成後	道路の存在		●	●	●	●	●	●	●		
	自動車の走行										
	換気塔の供用及び存在		●	●	●	●	●	●			

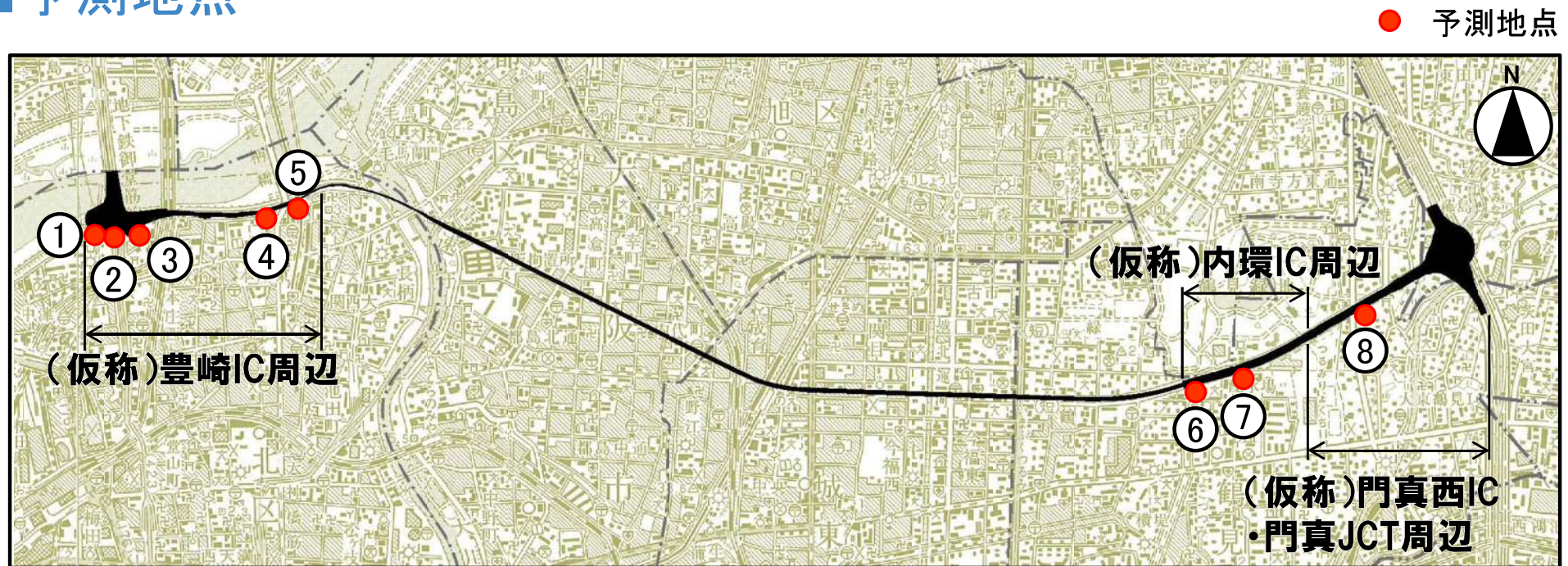
1. 環境影響評価の前提条件
2. 環境影響評価の項目
3. 環境影響評価の結果
4. 総合評価

大気質の予測項目

影響要因 環境要素	工事中		供用後	
	建設機械 の稼働	工事用車両 の運行	自動車の 走行	換気塔の 存在
二酸化窒素及び 浮遊粒子状物質	○	○	○	—
粉じん等	○	○	—	—

二酸化窒素及び浮遊粒子状物質【建設機械の稼働】

■ 予測地点



建設機械の稼働による寄与分

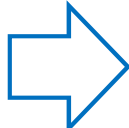
現 況 値

二酸化窒素及び浮遊粒子状物質【建設機械の稼働】

■ 予測結果

予測地域	予測地点	二酸化窒素(ppm)	浮遊粒子状物質(mg/m ³)
		日平均値の年間98%値	日平均値の年間2%除外値
(仮称)豊崎IC 周辺	①	0.043	0.059
	②	0.042	0.058
	③	0.054	0.062
	④	0.059	0.065
	⑤	0.056	0.063
(仮称)内環IC 周辺	⑥	0.051	0.063
	⑦	0.053	0.063
(仮称)門真西IC ・門真JCT周辺	⑧	0.050	0.062
環境基準		0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下	1 時間値の1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であること

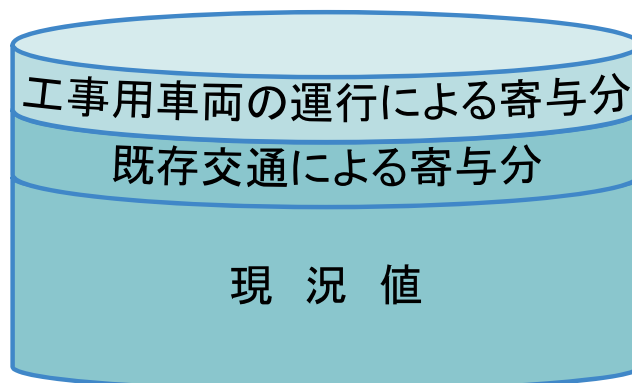
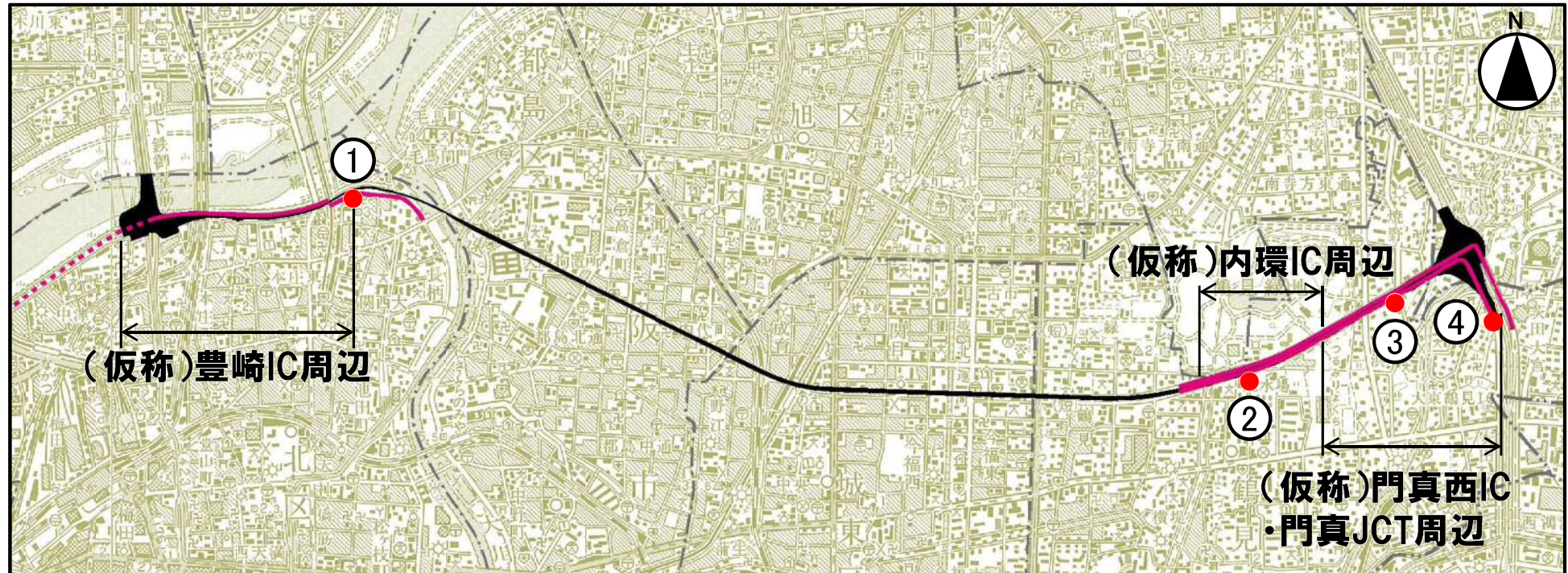
 : 予測地域の代表的な値

 環境基準を満足

二酸化窒素及び浮遊粒子状物質【工事用車両の運行】

■ 予測地点

— 工事用車両の運行ルート
● 予測地点



二酸化窒素及び浮遊粒子状物質【工事用車両の運行】

■ 予測結果

予測地域	予測地点	二酸化窒素 ppm	浮遊粒子状物質 mg/m ³
		日平均値の年間98%値	日平均値の年間2%除外値
(仮称)豊崎IC周辺	①	0.042	0.058
(仮称)内環IC周辺	②	0.041	0.059
(仮称)門真西IC・ 門真JCT周辺	③	0.041	0.059
	④	0.043	0.060
環境基準		0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下	1 時間値の1 日平均値が0.10mg/m ³ 以下であること

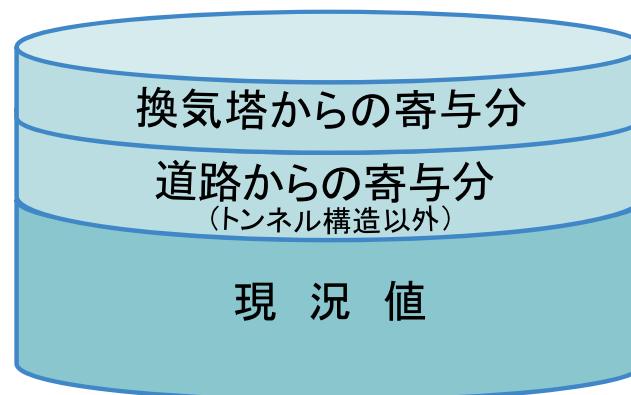
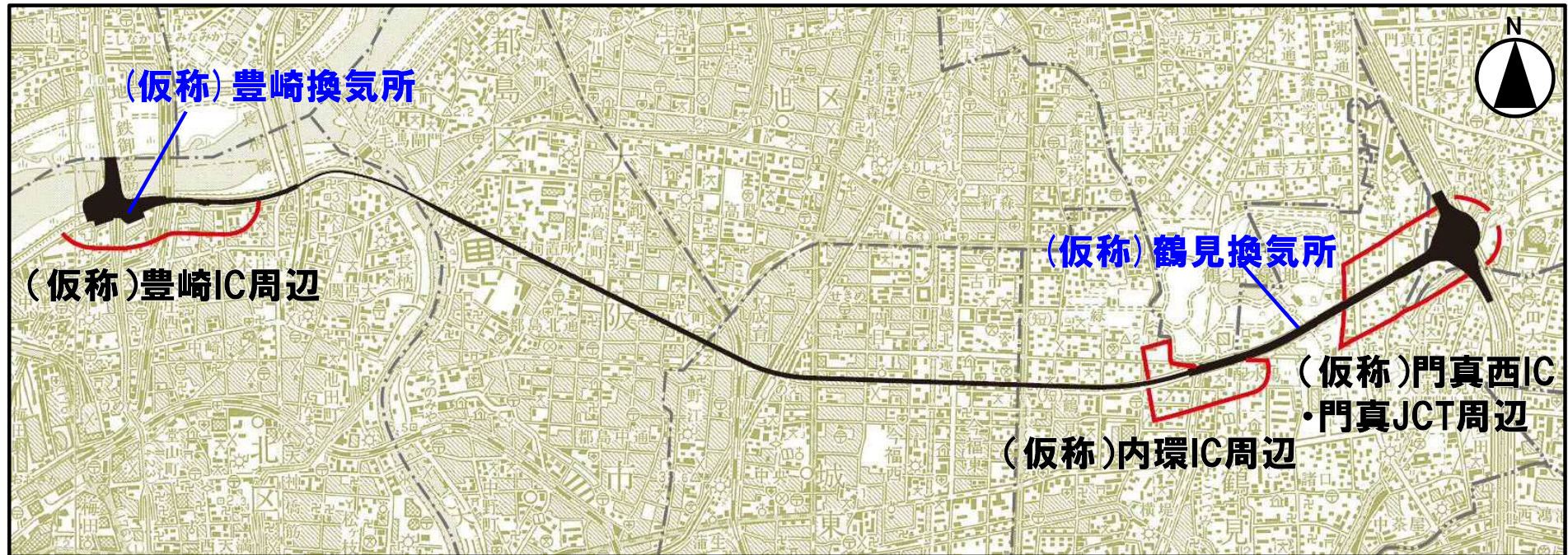
 : 予測地域の代表的な値



環境基準を満足

二酸化窒素及び浮遊粒子状物質【自動車の走行】

■ 予測地域



二酸化窒素及び浮遊粒子状物質【自動車の走行】

■ 予測結果

予測地域	(仮称)豊崎IC付近	①～④,⑭
	(仮称)内環IC付近	⑤
	(仮称)門真西IC・門真JCT付近	⑥～⑬,⑮

予測地点	予測高さ m	二酸化窒素 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)
		日平均値の年間98%値	日平均値の年間2%除外値
①	7.5	0.042	0.058
	1.5	0.043	0.058
②	10.5	0.042	0.058
	7.5	0.042	0.058
	1.5	0.042	0.058
③	22.5	0.042	0.058
	1.5	0.042	0.058
④	7.5	0.042	0.058
	1.5	0.043	0.058
⑤	7.5	0.040	0.059
	1.5	0.040	0.059
⑥	7.5	0.040	0.059
	1.5	0.040	0.059

: 予測地域の代表的な値

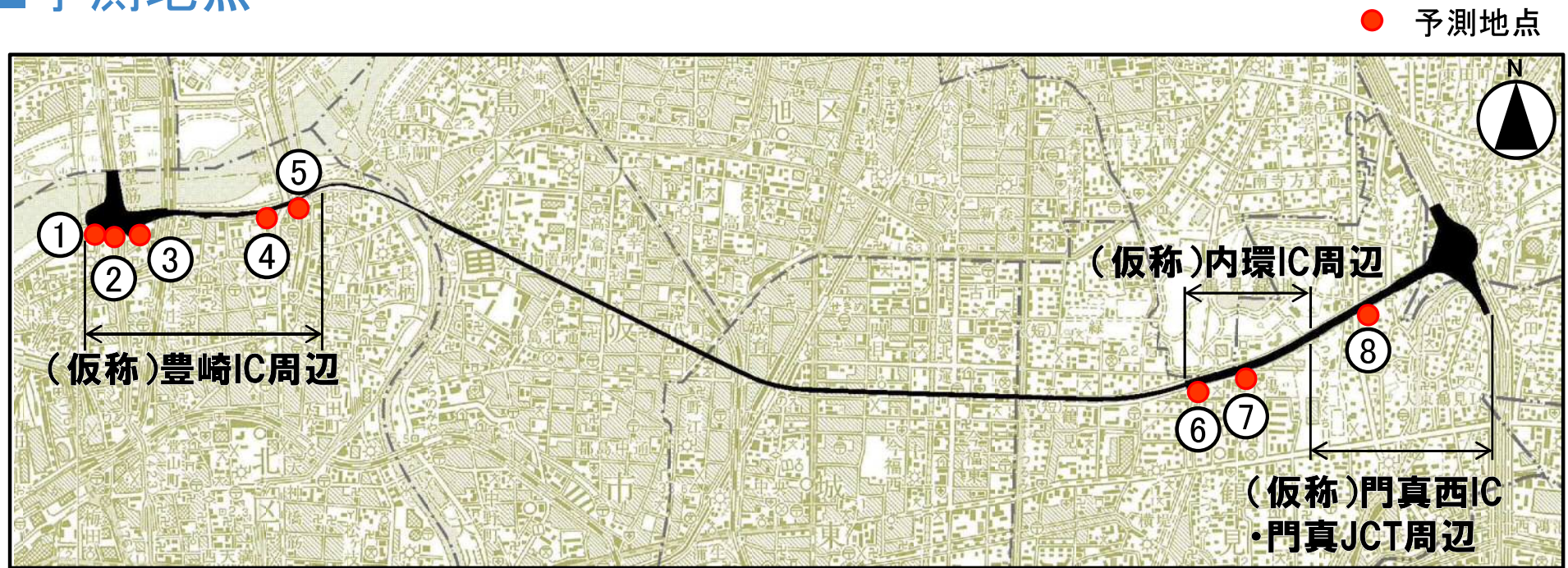
予測地点	予測高さ m	二酸化窒素 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)
		日平均値の年間98%値	日平均値の年間2%除外値
⑦	19.5	0.040	0.059
	1.5	0.040	0.059
⑧	7.5	0.041	0.059
	1.5	0.041	0.059
⑨	28.5	0.040	0.059
	1.5	0.041	0.059
⑩	7.5	0.040	0.059
	1.5	0.041	0.059
⑪	25.5	0.040	0.059
	1.5	0.040	0.059
⑫	7.5	0.041	0.059
	1.5	0.041	0.059
⑬	22.5	0.040	0.059
	1.5	0.041	0.059
⑭	1.5	0.041	0.058
⑮	1.5	0.039	0.059
環境基準		0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であること



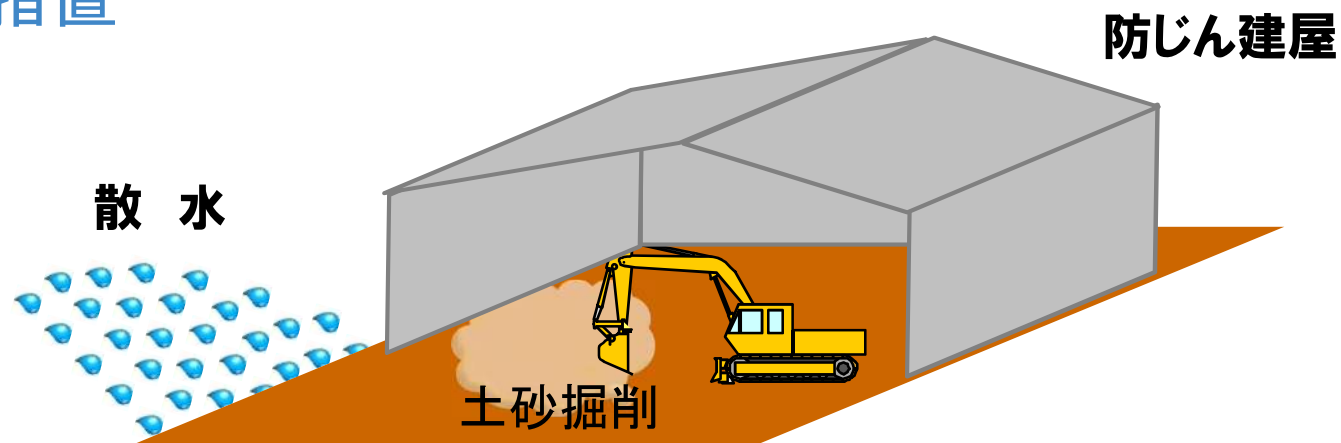
環境基準を満足

粉じん等【建設機械の稼働】

■ 予測地点



■ 環境保全措置



粉じん等【建設機械の稼働】

■ 予測結果

単位:t/km²/月

予測地域	予測地点	春	夏	秋	冬	参考となる値
(仮称) 豊崎IC周辺	①	0.5	0.4	0.7	0.6	10
	②	0.5	0.5	0.5	0.5	
	③	6.3	5.6	7.8	8.1	
	④	[5.4]	[4.1]	[6.9]	[6.8]	
	⑤	[3.3]	[2.5]	[4.3]	[4.2]	
(仮称) 内環IC周辺	⑥	[0.4]	[0.3]	[0.8]	[0.8]	
	⑦	[2.8]	[1.6]	[5.1]	[4.8]	
(仮称)門真西IC ・門真JCT周辺	⑧	6.1	5.6	7.4	7.6	

[]は、環境保全措置後の値

[5.4] : 予測地域の代表的な値

➡ 参考となる値を満足

粉じん等【工事用車両の運行】

■ 予測結果

単位：t/km²/月

予測地域	予測地点	春	夏	秋	冬	参考となる値
(仮称)豊崎IC周辺	①	[0.4]	[0.4]	[0.4]	[0.4]	10
(仮称)内環IC周辺	②	[0.3]	[0.3]	[0.4]	[0.3]	
(仮称)門真西IC・門真JCT周辺	③	[0.3]	[0.3]	[0.3]	[0.3]	
	④	[0.1]	[0.1]	[0.1]	[0.1]	

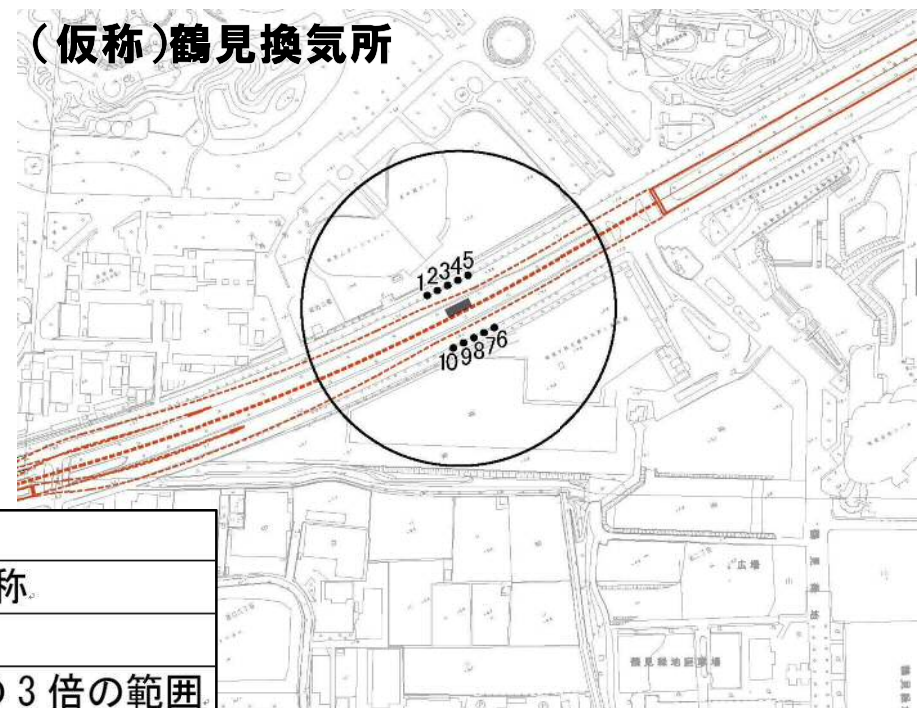
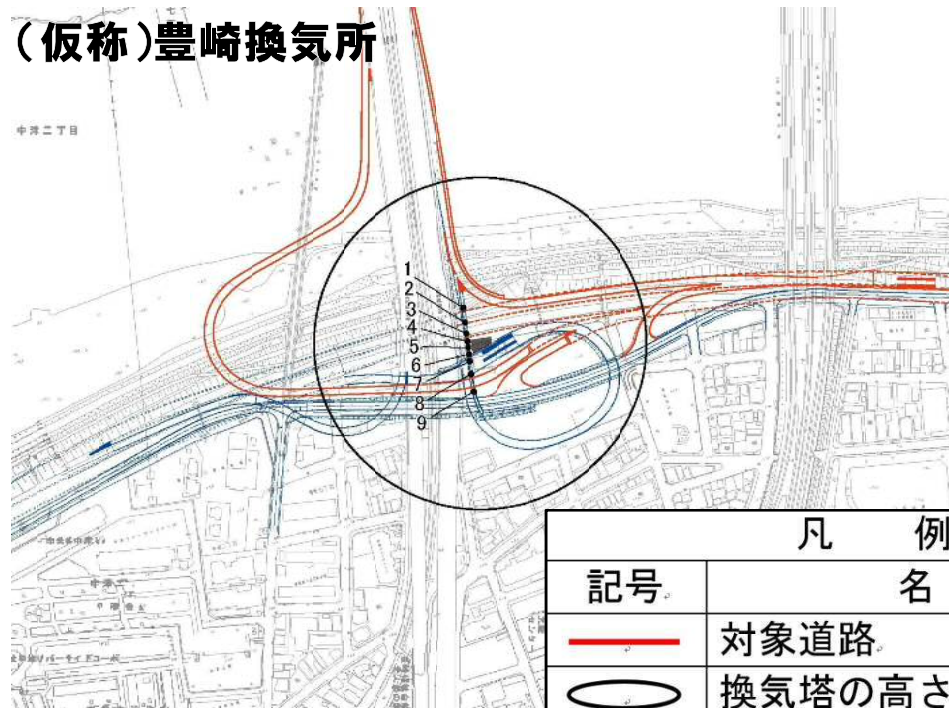
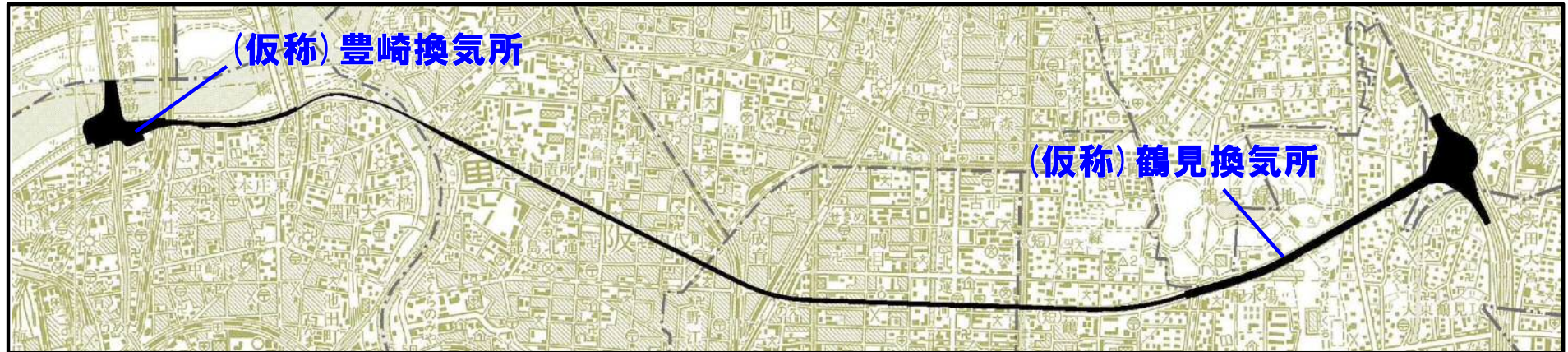
[]は、環境保全措置後の値

：予測地域の代表的な値

⇒ 参考となる値を満足

強風による風害【換気塔の存在】

■ 予測地点



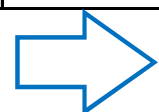
凡 例	
記号	名 称
	対象道路
	換気塔の高さの3倍の範囲
	予測地点
	換気塔

強風による風害【換気塔の存在】

■ 予測結果

(仮称)豊崎換気塔

風速 (m/s)	建設前 (%)	日最大平均風速 超過頻度(%)	参考となる値 (%)
4.0以上	41.6	22.2 ~ 54.0	22.0以下
6.0以上	6.6	1.9 ~ 9.6	3.6以下
8.0以上	0.3	0.0 ~ 0.8	0.6以下



参考となる値を超過

赤字: 参考となる値を超過

■ 環境保全措置

(仮称)鶴見換気塔

風速 (m/s)	建設前 (%)	日最大平均風速 超過頻度(%)	参考となる値 (%)
4.0以上	0.0	0.0 ~ 0.3	22.0以下
6.0以上	0.0	0.0	3.6以下
8.0以上	0.0	0.0	0.6以下



参考となる値を満足

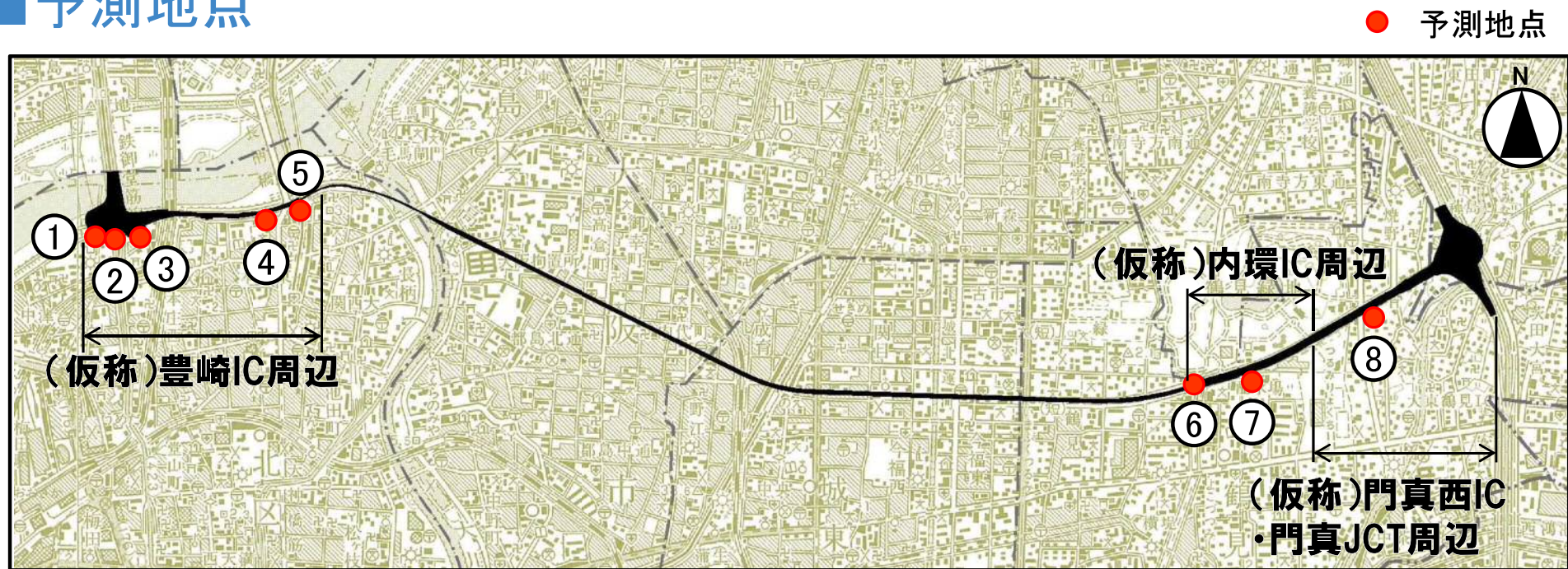
防風フェンス等の設置により、
環境影響の低減を図る

騒音の予測項目

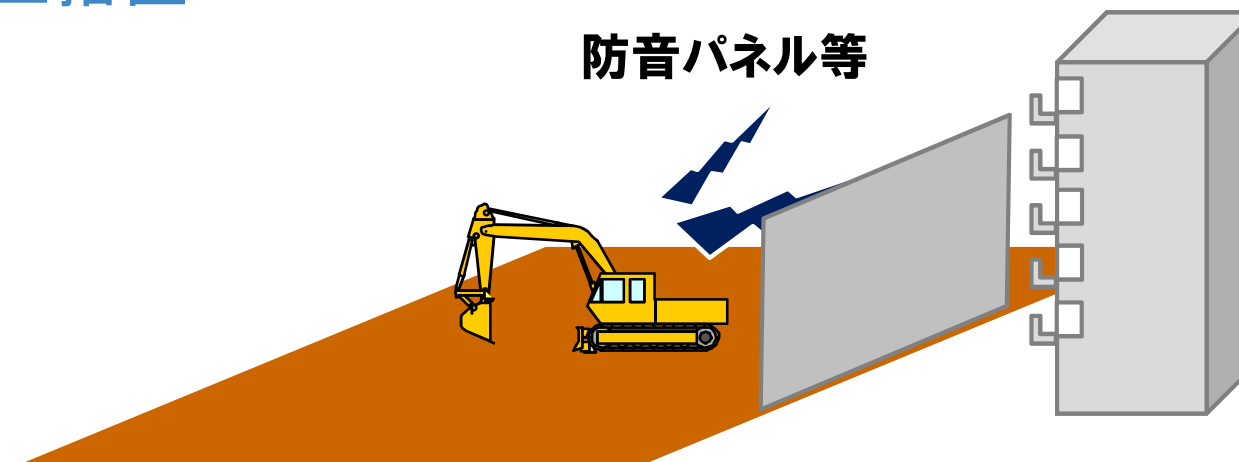
影響要因 環境要素	工事中		供用後	
	建設機械 の稼働	工事用車両 の運行	自動車の 走行	換気塔の 供用
騒音	○	○	○	○

騒音【建設機械の稼働】

■ 予測地点



■ 環境保全措置



騒音【建設機械の稼働】

■ 予測結果

予測地域	予測地点	高さ (m)	騒音レベル(dB) (L_{A5} 又は $L_{A,Fmax,5}$)	基準 (dB)
(仮称) 豊崎IC 周辺	①	7.2	83	85
		1.2	83	
	②	7.2	73	
		1.2	73	
	③	7.2	84	
		1.2	85	
	④	7.2	85	
		1.2	[77]	
	⑤	19.2	82	
		10.2	85	
		1.2	[77]	

予測地域	予測地点	高さ (m)	騒音レベル(dB) (L_{A5} 又は $L_{A,Fmax,5}$)	基準 (dB)
(仮称) 内環IC 周辺	⑥	13.2	82	85
		1.2	84	
	⑦	25.2	81	
		10.2	85	
(仮称) 門真西IC ・門真JCT 周辺	⑧	1.2	[77]	
		25.2	[85]	
		10.2	[79]	
		1.2	[76]	

: 予測地域の代表的な値

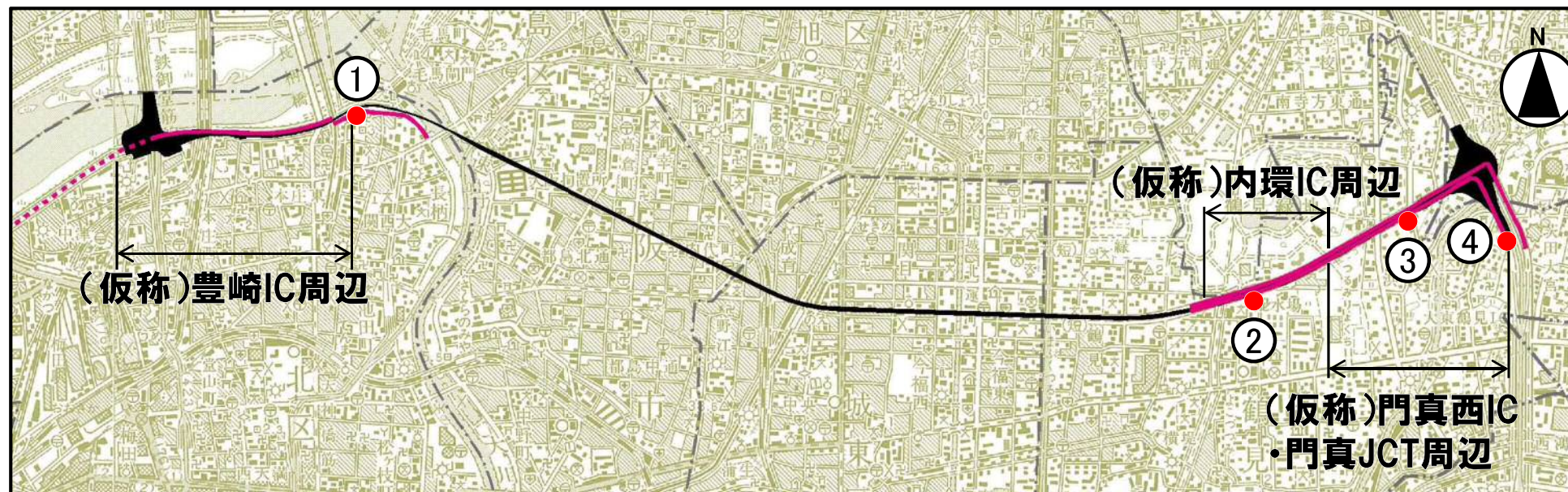
[]は、環境保全措置後の値

➡ 基準を満足

騒音【工事用車両の運行】

■ 予測地点

— 工事用車両の運行ルート
● 予測地点



■ 予測結果

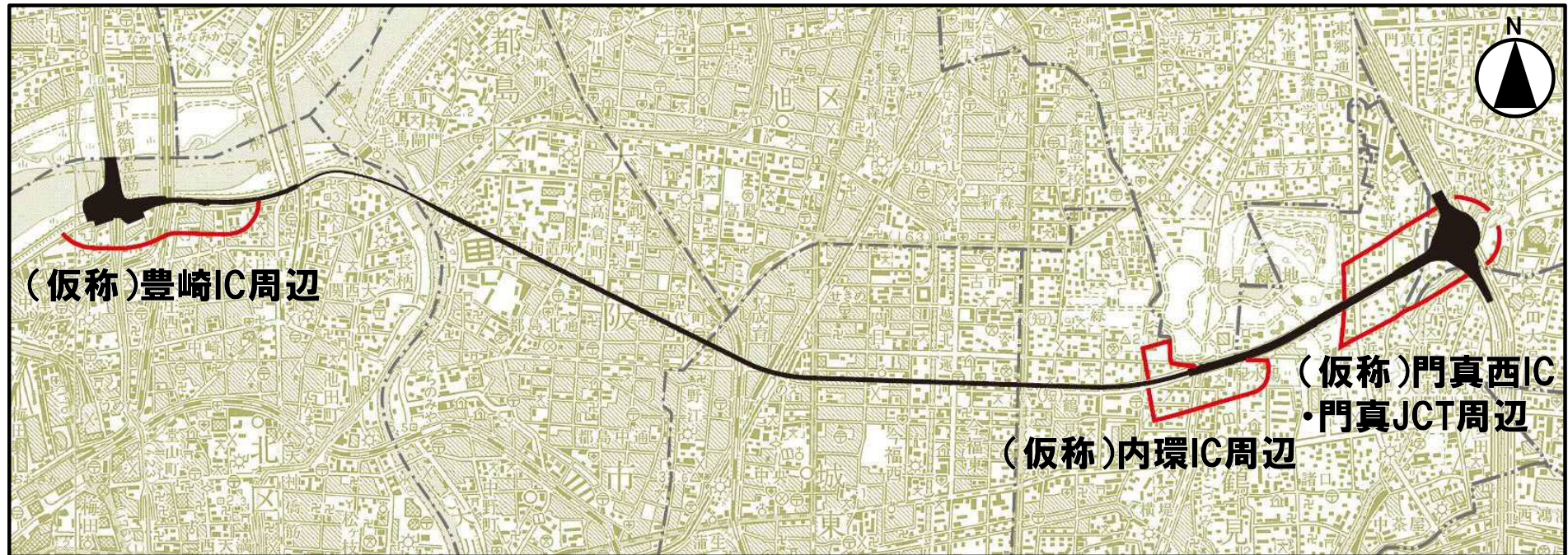
予測地域	予測地点	現況値 (dB)	工事用車両による 増加分 (dB)	予測結果 (L_{Aeq}) (dB)	基準 (dB)
(仮称)豊崎IC周辺	①	64	0	64	65
(仮称)内環IC周辺	②	67	0	67	70
(仮称)門真西IC・ 門真JCT周辺	③	67	0	67	70
	④	67	0	67	70

■ : 予測地域の代表的な値

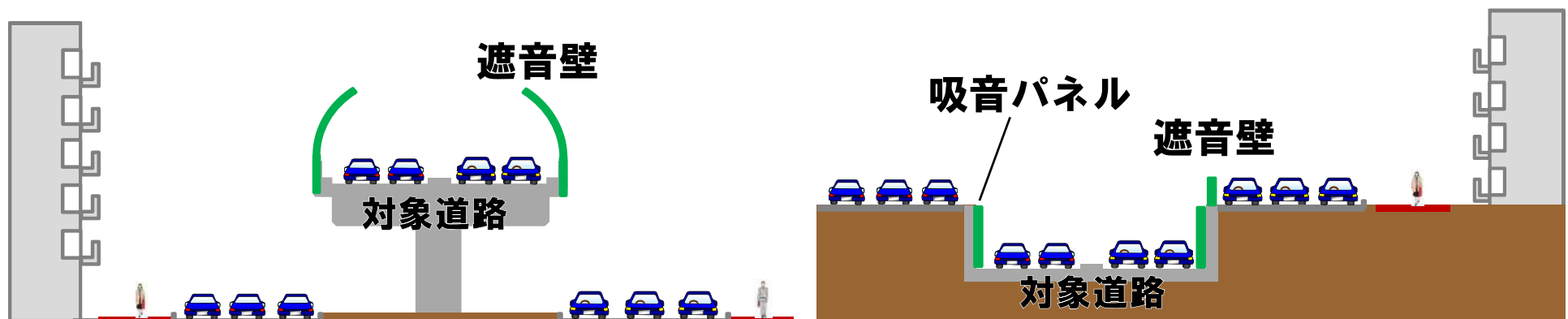
➡ 基準を満足

騒音【自動車の走行】

■ 予測地域



■ 環境保全措置



騒音【自動車の走行】

■ 予測結果

L_{Aeq} 単位: dB

予測地点	高さ	予測結果(昼間)			基準	予測結果(夜間)			基準
		対象道路	対象道路以外の道路			対象道路	対象道路以外の道路		
豊崎IC周辺	①	7.2m	57	67	70	52	61	62	65
		1.2m	57	68		52	62	62	
	②	7.2m	55	63	65	50	57	58	60
		1.2m	54	63		49	57	58	
	③	10.2m	59	65	70	55	60	61	65
		1.2m	54	61		50	56	57	
	④	7.2m	64	68	70	59	62	64	65
		1.2m	64	69		59	63	65	
	⑤	19.2m	[51]	64	65	[46]	58	[59]	60
		13.2m	[51]	65		[46]	60	[60]	
		1.2m	[50]	69		[45]	63	[63]	
内環IC周辺	⑥	7.2m	63	69	70	59	63	64	65
		1.2m	53	70		49	63	64	
	⑦	7.2m	[50]	65	65	[45]	59	[59]	60
		1.2m	[48]	65		[44]	59	[59]	
	⑧	19.2m	56	62	65	51	56	57	60
		7.2m	54	64		49	58	58	
		1.2m	50	63		46	57	57	
門真西IC・門真JCT周辺	⑨	19.2m	[68]	66	70	[64]	60	[65]	65
		1.2m	[60]	70		[57]	64	[64]	
	⑩	16.2m	[60]	63	65	[56]	57	[59]	60
		1.2m	[57]	65		[53]	58	[60]	
	⑪	28.2m	[68]	65	70	[64]	58	[65]	65
		16.2m	[59]	66		[55]	60	[61]	
	⑫	1.2m	[59]	69	65	[55]	63	[63]	60
		34.2m	[58]	63		[54]	57	[59]	
	⑬	1.2m	[56]	66	60	[52]	59	[60]	55
		16.2m	[47]	60		[43]	54	[54]	
	⑭	1.2m	[51]	62	70	[47]	56	[56]	65
		7.2m	63	68		59	63	64	
JCT周辺	⑮	1.2m	62	68	65	58	62	64	60
		7.2m	[58]	66		[54]	61	[61]	
	⑯	1.2m	[57]	66	70	[53]	61	[61]	65
		25.2m	[68]	64		[64]	58	[65]	
	⑰	1.2m	[65]	67	65	[61]	61	[64]	60
		7.2m	60	67		56	62	63	
	⑱	1.2m	60	68	70	56	62	63	65
		7.2m	58	66		53	61	61	
	⑲	1.2m	57	66	65	53	61	61	60
		22.2m	[61]	65		[57]	59	[61]	
		1.2m	[65]	67		[61]	61	[64]	

赤字: 環境基準を超過 []は、環境保全措置後の値 □: 予測地域の代表的な値



「遮音壁の設置」などの環境保全措置により、基準以下又は、対象道路以外の騒音レベルの増加がない

事業者は、対象道路以外の道路において、基準又は目標との整合が図られるよう、連携・調整を実施

騒音【換気塔の供用】

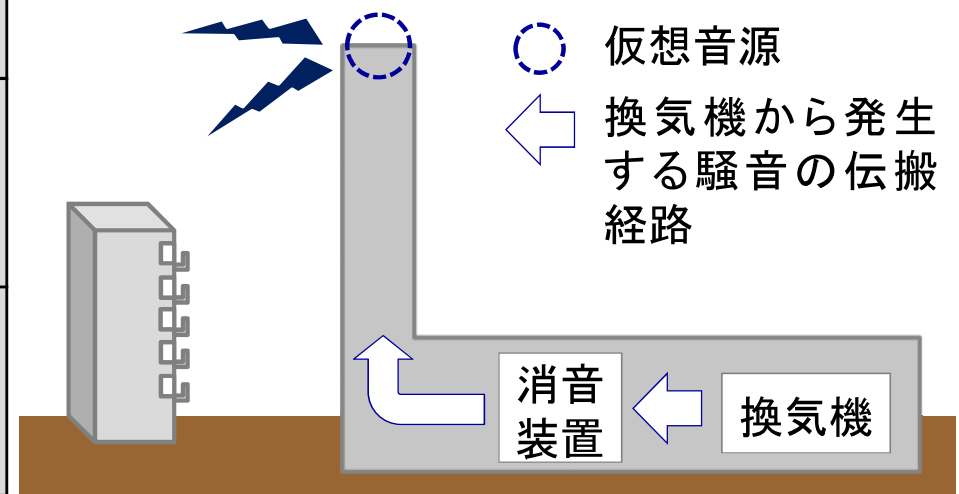
■ 予測地点



■ 予測結果

予測地域	予測地点	高さ (m)	予測結果 (dB)	基準 (dB)
(仮称) 豊崎換気所周辺	①	19.2	55	朝・夕 60 昼 間 65 夜 間 55
		1.2	54	
(仮称) 鶴見換気所周辺	②	7.2	44	朝・夕 50 昼 間 55 夜 間 45
		1.2	43	

: 予測地域の代表的な値



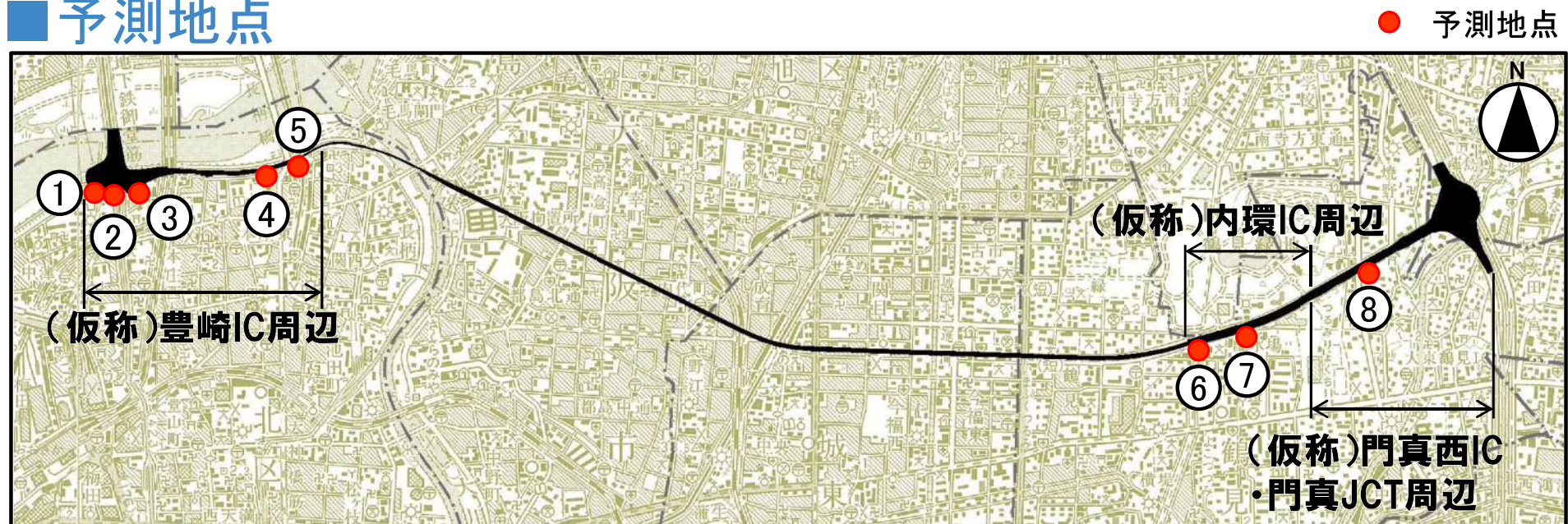
基準を満足

振動の予測項目

影響要因 環境要素	工事中		供用後	
	建設機械 の稼働	工事用車両 の運行	自動車の 走行	換気塔の 供用
振 動	○	○	○	○

振動【建設機械の稼働】

■ 予測地点



■ 予測結果

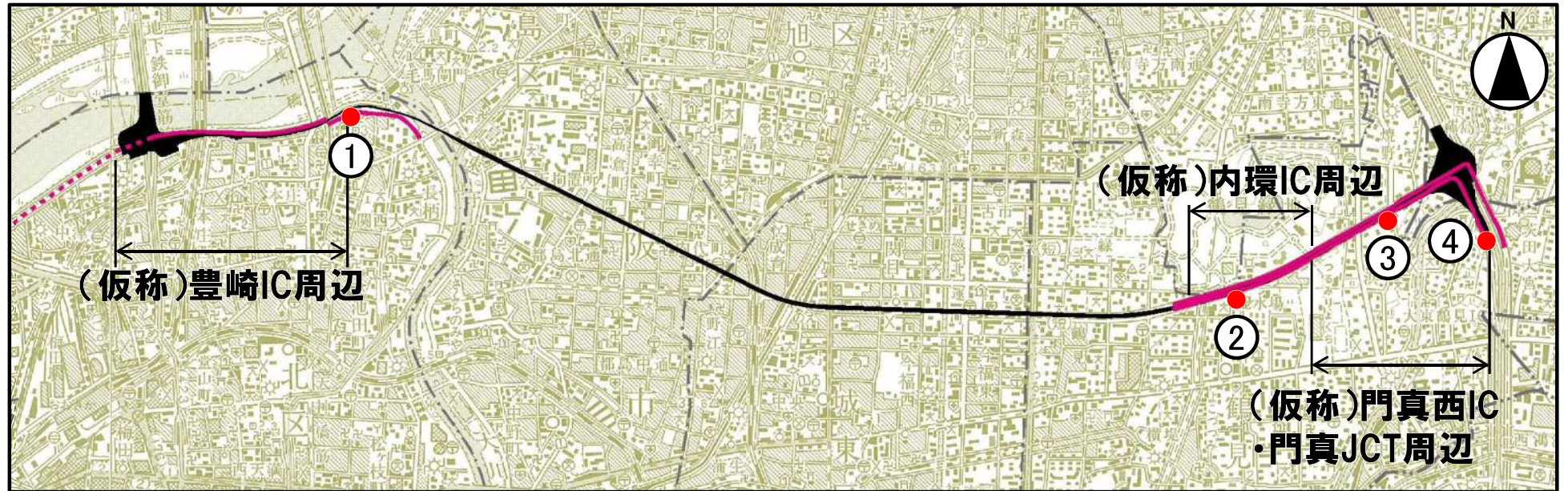
□ : 予測地域の代表的な値

予測地域	予測地点	予測結果 (L_{10}) (dB)	基準 (dB)
(仮称)豊崎IC周辺	①	36	75
	②	47	
	③	54	
	④	61	
	⑤	51	
(仮称)内環IC周辺	⑥	49	
	⑦	60	
(仮称)門真西IC・門真JCT周辺	⑧	63	

⇒ 基準を満足

振動【工事用車両の運行】

■ 予測地点



■ 予測結果

□ : 予測地域の代表的な値

予測地域	予測地点	現況値	予測結果 (L_{10}) (dB)	基準 (dB)
(仮称)豊崎IC周辺	①	41	43	70
(仮称)内環IC周辺	②	40	41	65
(仮称)門真西IC・ 門真JCT周辺	③	40	41	65
	④	47	47	65

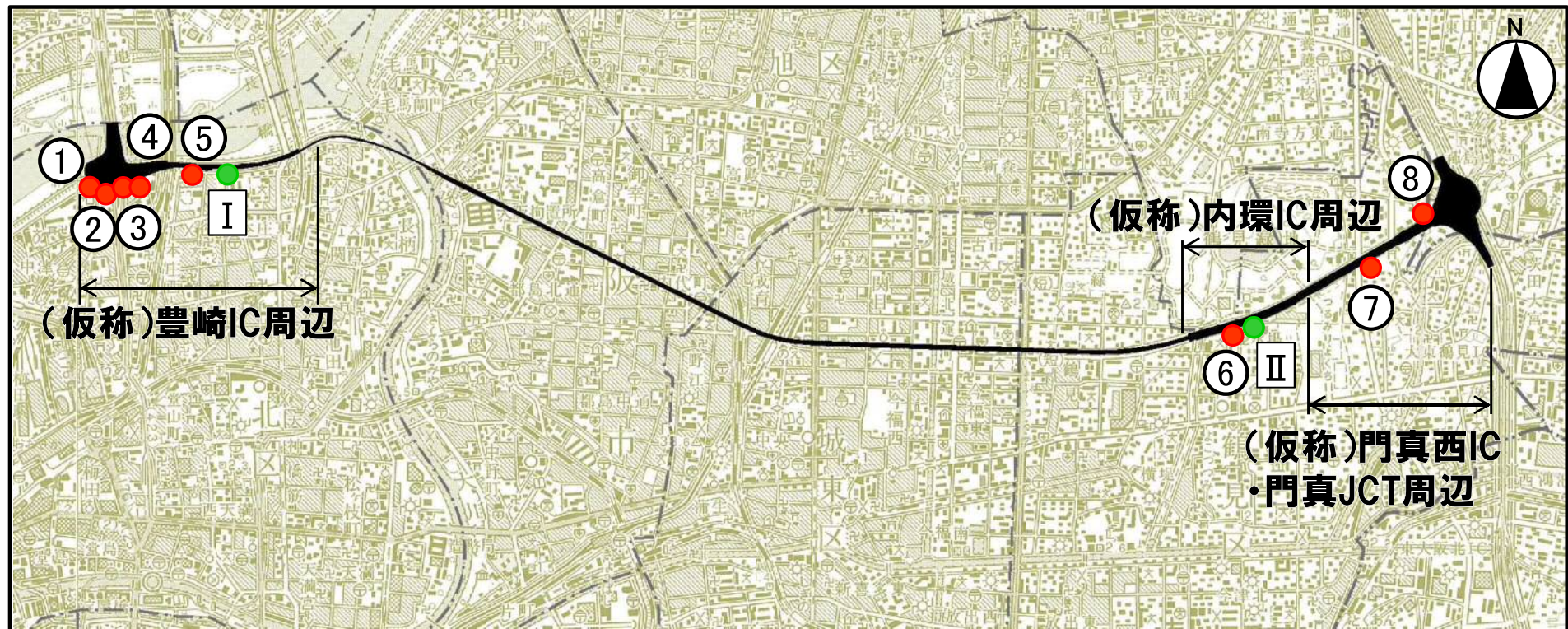
➡ 基準を満足

振動【自動車の走行】

■ 予測地点

● 予測地点(高架・土工部)

● 予測地点(トンネル部)



振動【自動車の走行】

■ 予測結果

予測地域		予測地点	昼間		夜間	
			予測結果 (L_{10})(dB)	基準 (dB)	予測結果 (L_{10})(dB)	基準 (dB)
明かり部 (高架・ 土工部)	(仮称)豊崎IC周辺	①	47	65	45	60
		②	48	65	46	60
		③	49	70	47	65
		④	45	70	43	65
		⑤	48	70	44	65
	(仮称)内環IC周辺	⑥	54	65	48	60
	(仮称)門真西IC・ 門真JCT周辺	⑦	51	65	48	60
		⑧	53	70	50	65

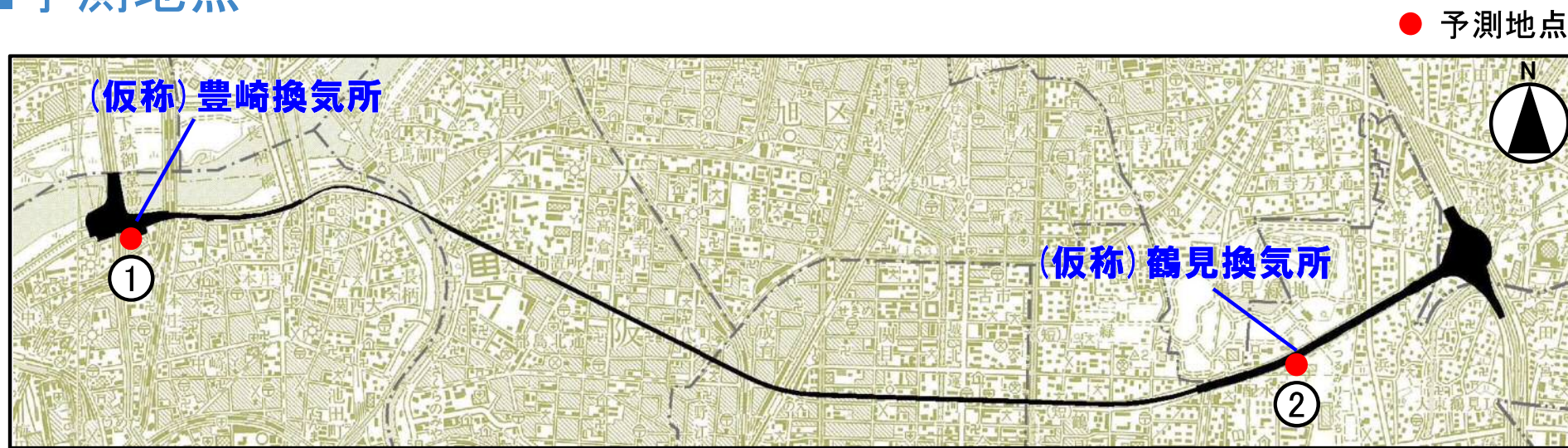
予測地域		予測地点	昼間		夜間	
			予測結果 (L_{10})(dB)	基準 (dB)	予測結果 (L_{10})(dB)	基準 (dB)
トンネル部	(仮称)豊崎IC周辺	I	44 以下	70	44 以下	65
	(仮称)内環IC周辺	II	44 以下	65	44 以下	60

: 予測地域の代表的な値

➡ 基準を満足

振動【換気塔の供用】

■ 予測地点



■ 予測結果

予測地域	予測地点	予測結果 (dB)	基準 (dB)
(仮称) 豊崎換気所周辺	①	30未満	昼間65 夜間60
(仮称) 鶴見換気所周辺	②	30未満	昼間60 夜間55

※ 代表的な値

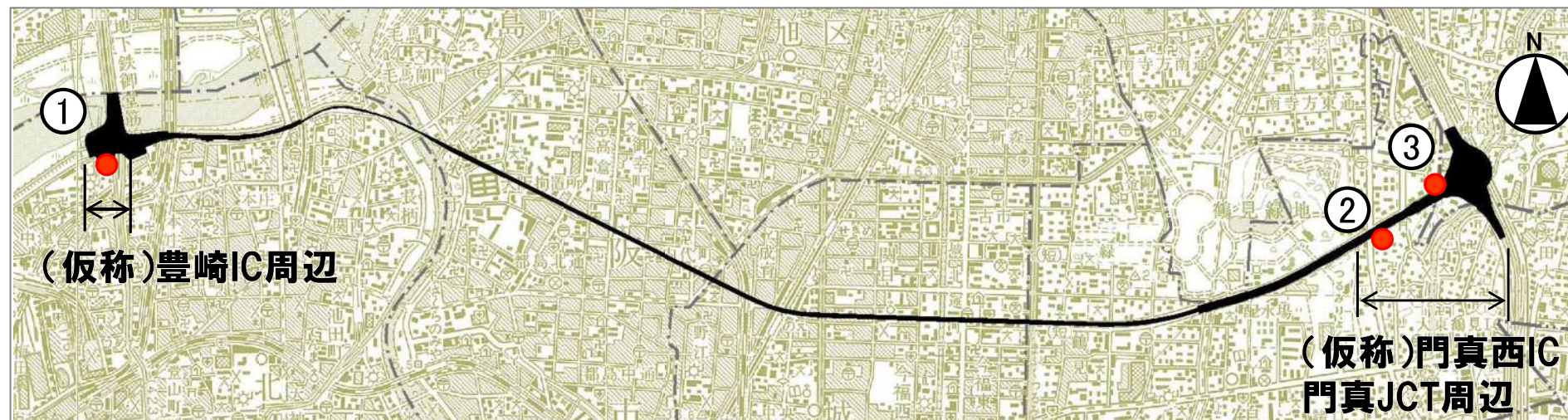
➡ 基準を満足

低周波音の予測項目

影響要因 環境要素	工事中		供用後	
	建設機械 の稼働	工事用車両 の運行	自動車の 走行	換気塔の 供用
低周波音	—	—	○	○

低周波音【自動車の走行】

■ 予測地域



■ 予測結果

予測地域	予測地点	高さ (m)	予測結果 (dB)		参考となる値 (dB)
			1～80Hzの50%時間率 音圧レベル (L ₅₀)	1～20HzのG特性5%時間率 音圧レベル (L _{G5})	
(仮称)豊崎IC 周辺	①	7.2	70	78	L ₅₀ : 90 L _{G5} : 100
		1.2	70	78	
(仮称)門真西 IC・門真JCT 周辺	②	4.2	84	90	
		1.2	84	90	
	③	10.2	81	88	
		1.2	80	87	

■ : 予測地域の代表的な値



参考となる値を満足

低周波音【換気塔の供用】

■ 予測地点



■ 予測結果

予測地域	予測地点	高さ (m)	予測結果 (dB)		参考となる値 (dB)
			1～80Hzの50%時間 率音圧レベル (L_{50})	1～20HzのG特性5%時間 率音圧レベル (L_{G5})	
(仮称) 豊崎 換気所周辺	①	19.2	77	79	L_{50} : 90 L_{G5} : 100
		1.2	77	79	
(仮称) 鶴見 換気所周辺	②	7.2	77	79	
		1.2	76	78	

： 予測地域の代表的な値



参考となる値を満足

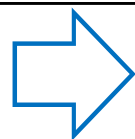
水質・底質

■ 予測地点



■ 予測結果

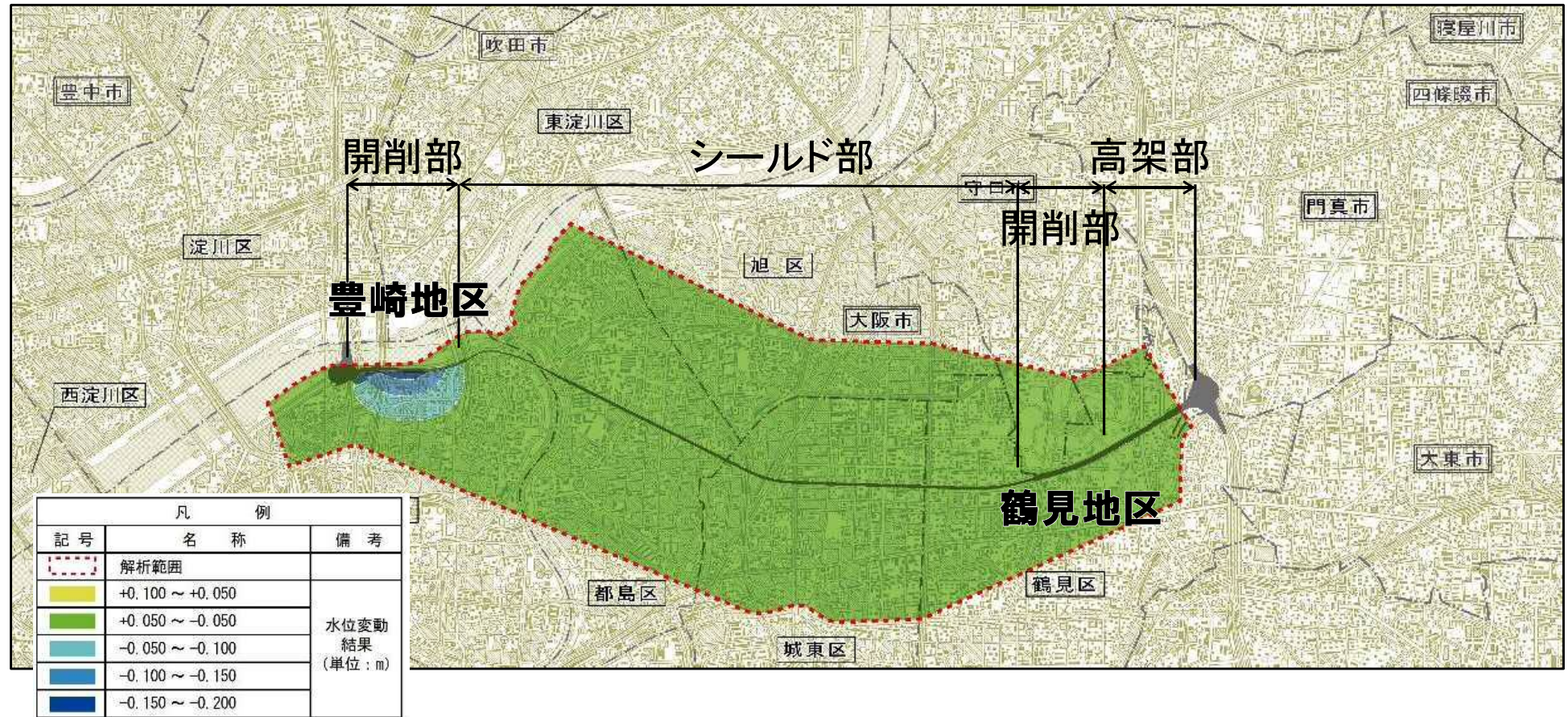
水 質	濁水は適切に管理・処理し公共用下水へ排水
底 質	現地調査の結果、汚染底質は確認されていない



影響は極めて小さい

地下水・地盤①

■ 予測結果(浅層地下水位)



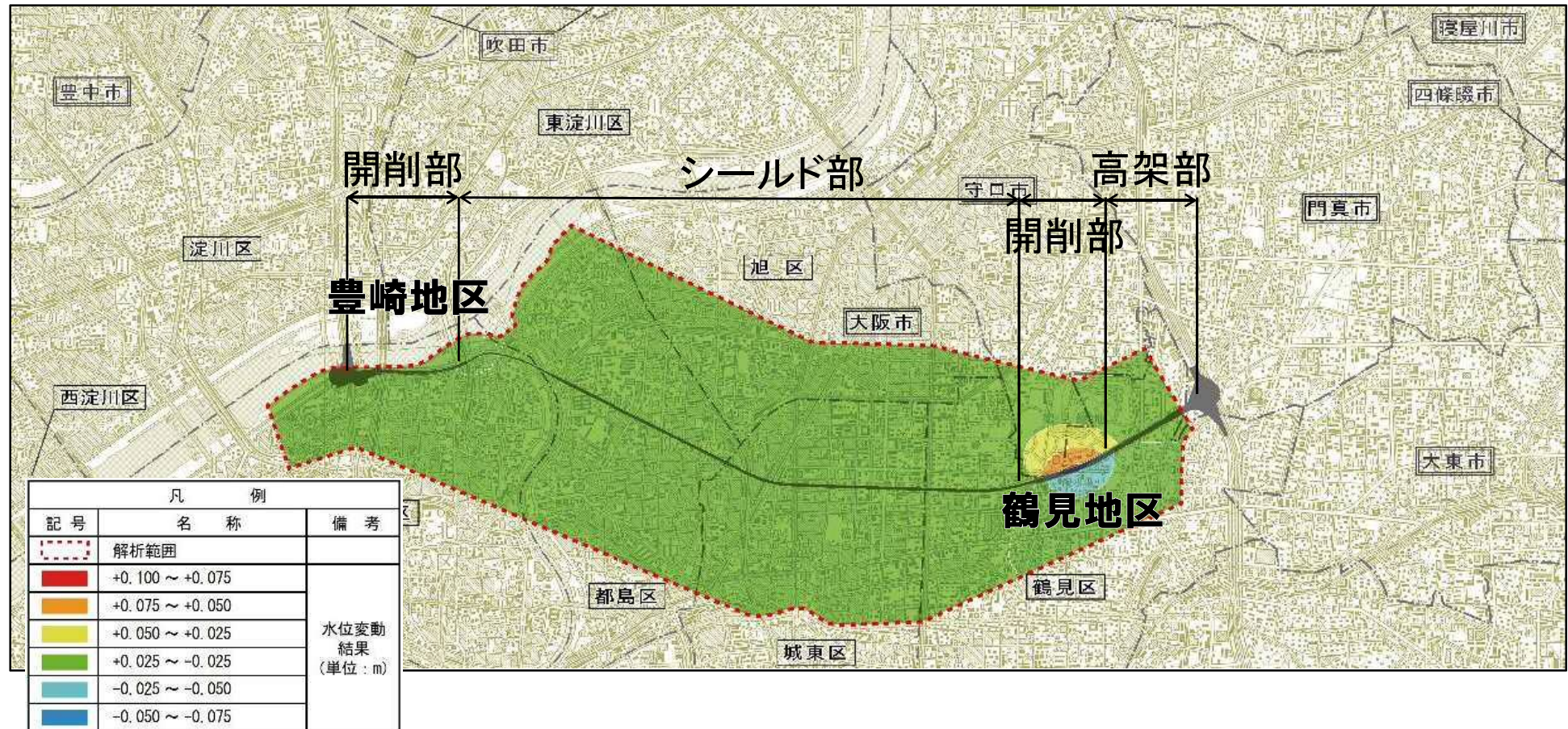
予測地点	最大上昇量 (cm)	最大低下量 (cm)	地盤沈下量 (mm)
豊崎地区 (開削区間)	約 6	約 18	約2

予測地点	最大上昇量 (cm)	最大低下量 (cm)	地盤沈下量 (mm)
鶴見地区 (開削区間)	約 1	約 2	約0.2

➡ 年間変動幅平均約70cmの範囲内

地下水・地盤②

■ 予測結果(深層地下水位)



予測地点	最大上昇量 (cm)	最大低下量 (cm)	予測地点	最大上昇量 (cm)	最大低下量 (cm)
豊崎地区 (開削区間)	約 1	約 1	鶴見地区 (開削区間)	約 8	約 7

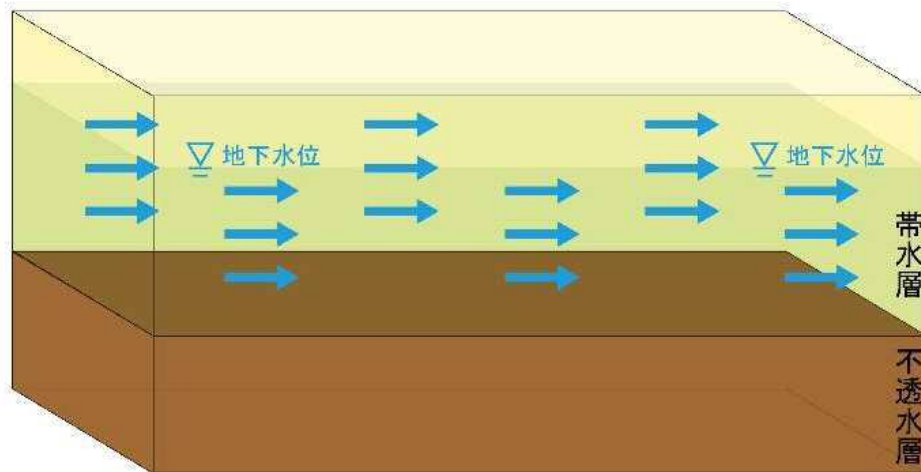
➡ 年間変動幅平均約50cmの範囲内

地下水・地盤③

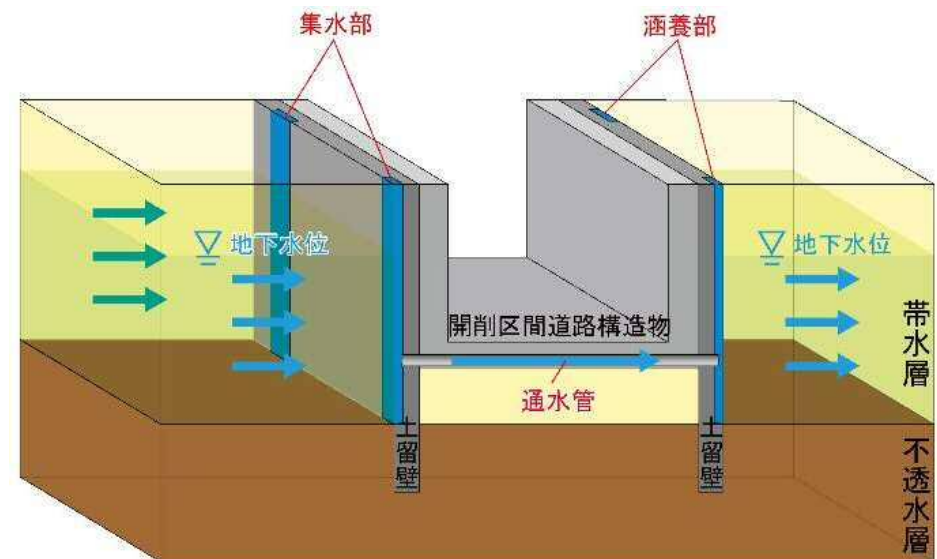
■環境保全措置

地下水流動保全工法（開削区間、掘割部）

現 況



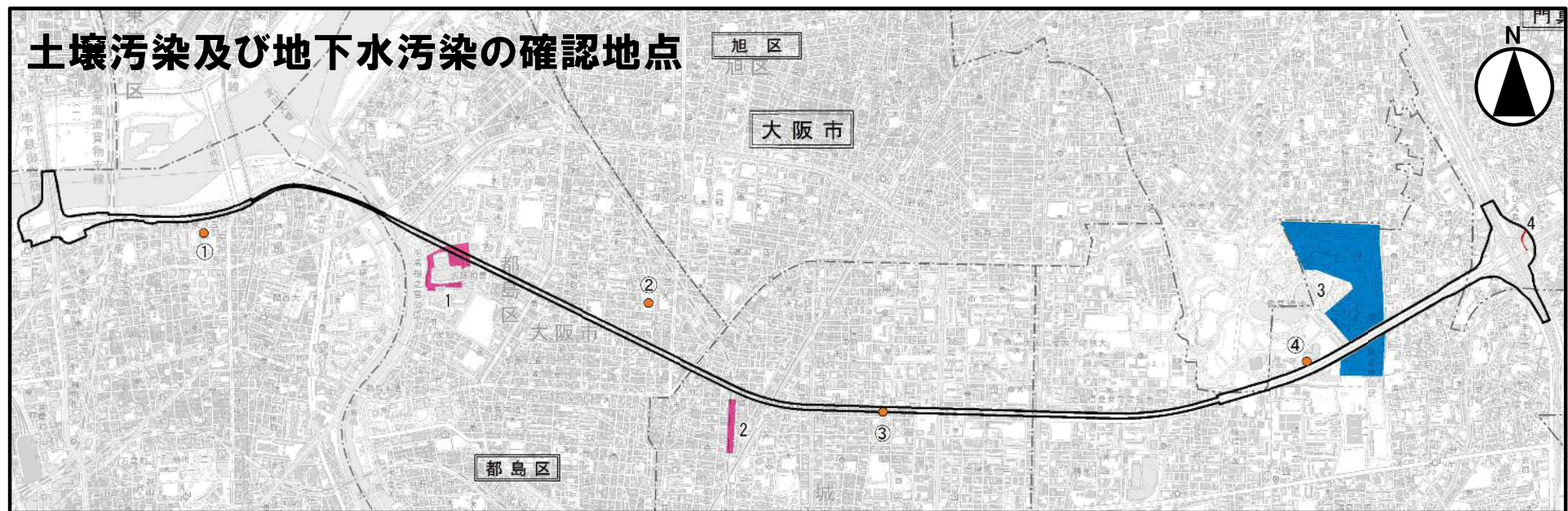
供用後



土壌

■調査結果

- ■ ■ : 土壌汚染対策法等に基づく指定区域
● : 地下水汚染の確認位置



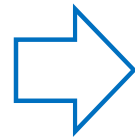
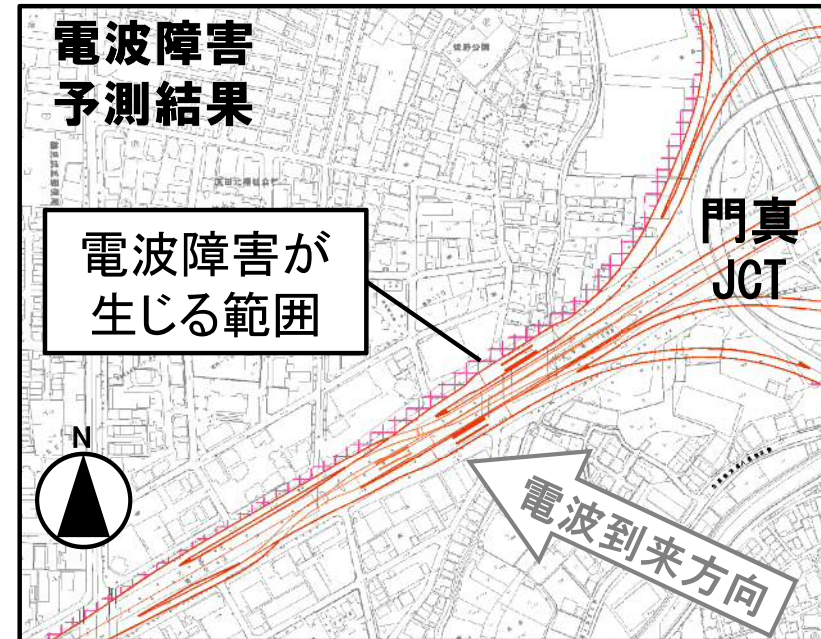
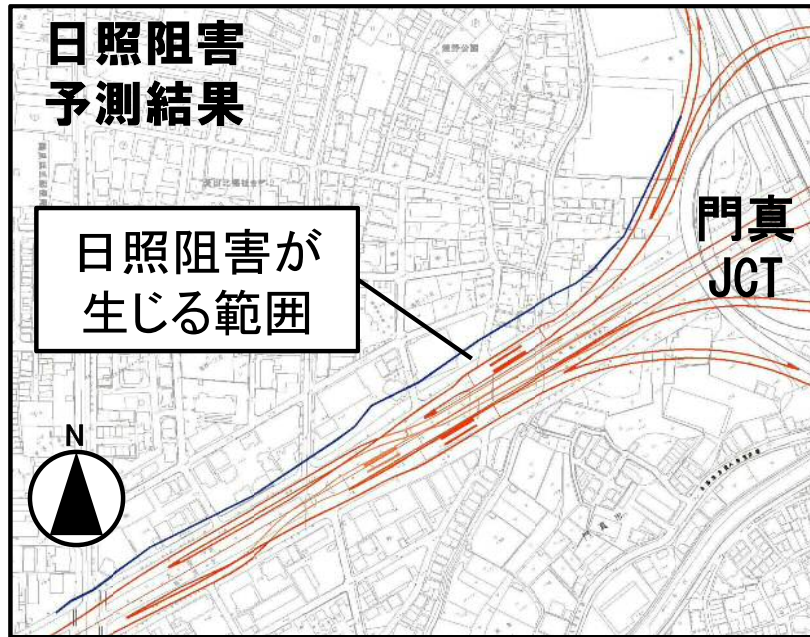
■予測結果 ➡ 影響があると予測

(工事時に「土壌汚染」「地下水汚染」が確認された場合)

■環境保全措置 「土壌汚染除去措置」 「地下水汚染拡散防止措置」を実施

日照障害・電波障害

■ 予測結果



(仮称)門真西インターチェンジ、門真ジャンクション周辺の一部で、日照障害及び電波障害が発生する可能性がある

■ 環境保全措置

「高架構造物の上下部工の形式・配置等の工夫」等を実施
必要に応じて関係通達にもとづき適切に対処します。

動物・植物・生態系①

■ 予測地域の現状(現地調査の結果)

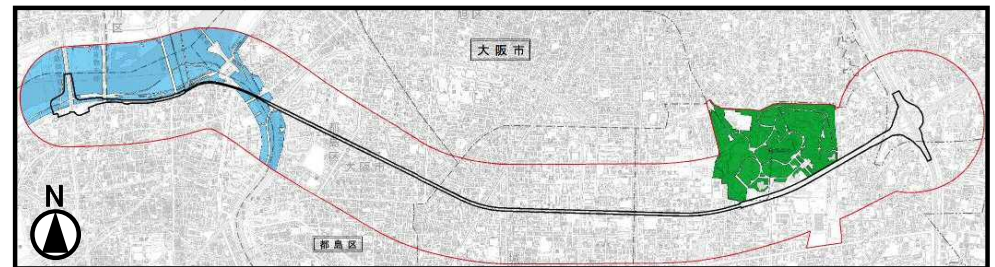
動物確認種等

項 目		確認種数	重要な種等	
動物	哺乳類	7種	3種	カヤネズミ、イタチ等
	鳥類	111種	56種	オシドリ、チョウゲンボウ等
	爬虫類	8種	1種	ニホンスッポン
	両生類	4種	1種	トノサマガエル
	魚類	35種	8種	アユ、シマヒレヨシノボリ等
	昆虫類	622種	20種	アオサナエ、ミスジチョウ等
	クモ類	58種	4種	コガネグモ、カコウコモリグモ等
	陸産貝類	5種	0種	重要な種は確認されていません
	底生動物	70種	11種	ウミゴマツボ、イシガイ等

植物確認種等

項 目		確認種数	重要な種等	
植物	維管束植物	752種	6種	ミゾコウジュ、シオクグ等
	藻類	57種	4種	アヤギヌ、シャジクモ等
	植生	24群落等	5群落	葎島のくす、ギ群落等

地域を特徴づける生態系区分図



河川・水辺
の生態系

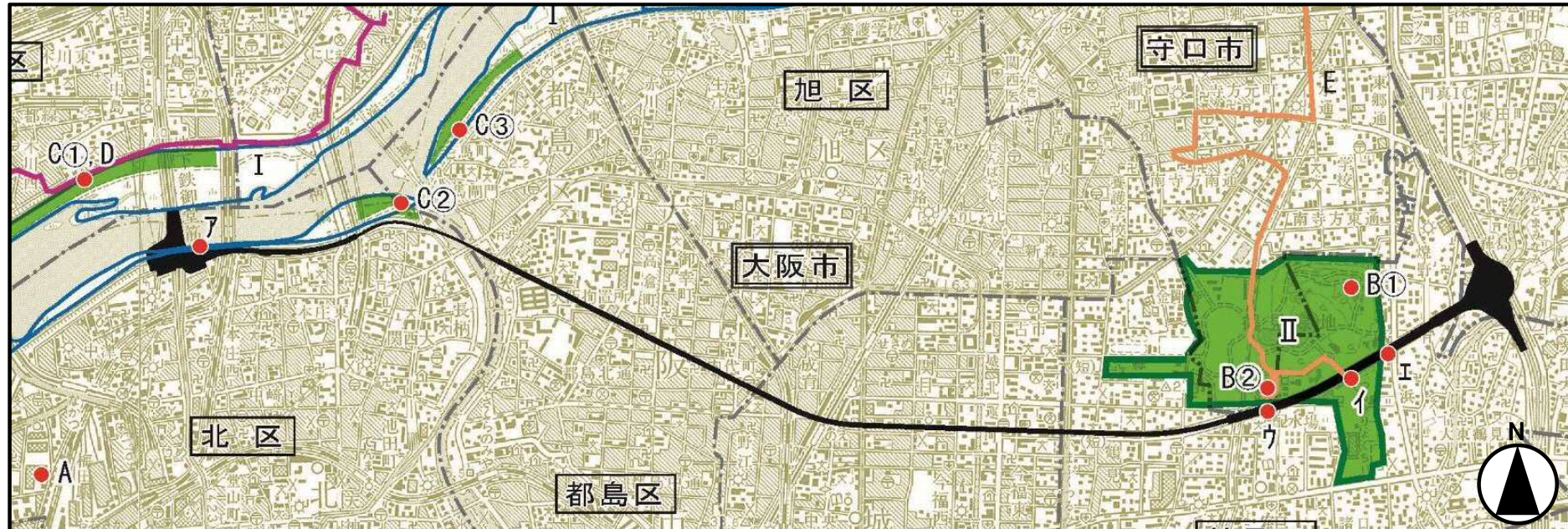
都市緑地
の生態系

➡ 影響は無い、又は極めて小さい

景観①

■ 予測地点

主要な眺望点等位置図



区分	番号	名称
主要な眺望点 ●	A	梅田スカイビル
	B①②	花博記念公園鶴見緑地
	C①②③	淀川河川公園
主要な眺望点 (身近な自然景観) ●	ア	淀川堤防上
	イ	鶴見緑地駅付近
	ウ	茨田西小学校
	エ	俊英館保育園

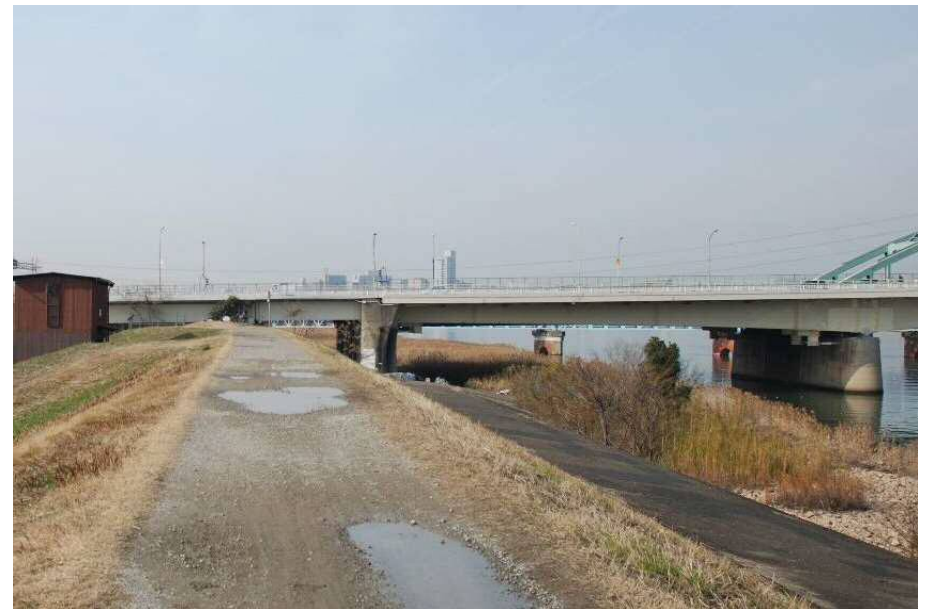
区分	名称
景観資源	瀬戸内海国立公園 (六甲地域)
	金剛生駒紀泉国定公園
	大阪府立北摂自然公園
	淀川河川敷
	花博記念公園 鶴見緑地

■ 梅田スカイビル

現 況



■ 淀川堤防上



景観③

■ 予測結果

■ 梅田スカイビル

将 来

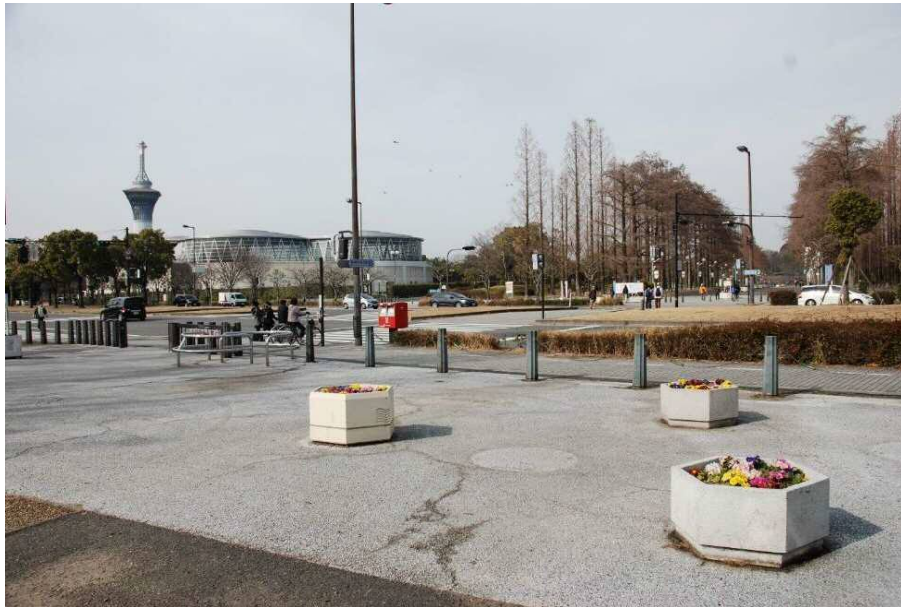


■ 淀川堤防上



⇒ 眺望景観の変化は極めて小さい

■ 鶴見緑地駅付近 現 況



■ 俊英館保育園周辺



景観⑤

■ 予測結果

■ 鶴見緑地駅付近

将 来



■ 俊英館保育園周辺



➡ 眺望景観の変化があります

■ 環境保全措置

「高架構造物、換気所の「形式・デザイン・色彩の検討」

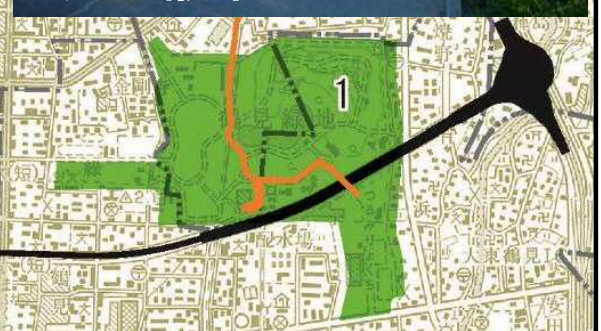
人と自然との触れ合いの活動の場

主要な触れ合い活動の場の調査地点

4 淀川河川公園:毛馬地区



1 花博記念公園鶴見緑地
6 史跡散策モデルコース



2 淀川河川公園:西中島
地区・十三野草地区



5 歴史の散歩道:
淀川・江口コース



3 淀川河川公園:
長柄地区・長柄河畔地

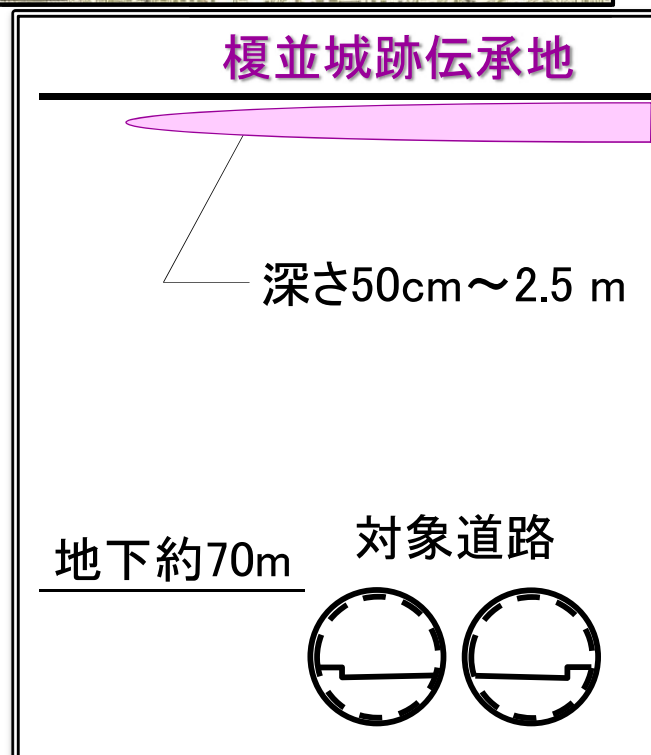
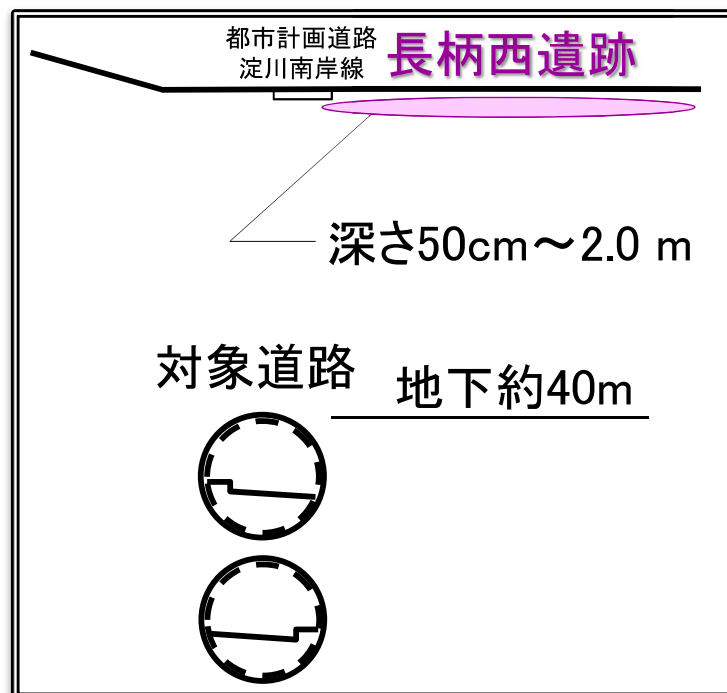


■ 予測結果



利用性・快適性の変化は生じない

■ 予測結果



トンネル構造で通過



影響がないと予測

廃棄物等

■ 予測結果

種 類		発生量	再利用量 (現場内利用)	区域外 搬出量	発生する 主な工事区分
建設発生土	予測量 (千m ³)	1,407	517	890	開削トンネル、掘割、高架
建設汚泥		1,915	0	1,915	シールドトンネル
コンクリート塊		0.4	0	0.4	開削トンネル、掘割、盛土
アスファルト・コンクリート塊		3.1	0	3.1	開削トンネル、掘割、盛土
建設発生木材		0	0	0	—



区域外搬出するため、影響がある

■ 環境保全措置

再資源化などの配慮を行う

1. 環境影響評価の前提条件
2. 環境影響評価の項目
3. 環境影響評価の結果
4. 総合評価

**対象道路事業に係る環境の保全について、
適正な配慮がなされていると評価します。**

